令和７年度事業報告書
京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのサポートふれあい交流サロン「なごやかサロン」

◆令和７年度

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」事業報告

❑概要

（１）指定相談支援事業
（２）障害区分認定調査業務
（３）京都市精神障害者地域移行促進事業
（４）京都市ピアサポート基礎研修事業
（５）京都市入院者訪問支援事業
（６）こころのサポートふれあい交流サロン事業
（７）指定特定相談支援事業
（８）指定一般相談支援事業
（９）視程障害児相談支援事業

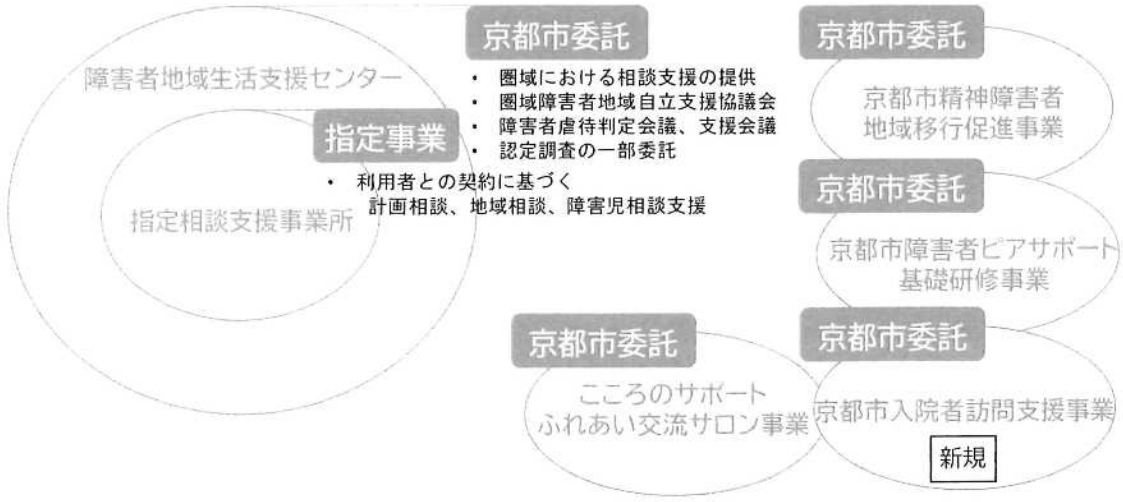
◆【添付資料】

・資料①「令和７（2025）年度　相談支援実績」
・資料②「令和７（2025）年度　苦情対応」
・資料③「令和７（2025）年度　実習生の受入・地域ネットワーク・研修参加状況

◆その他

・事故報告書
※無し
・令和７年度　決算報告書（財務諸表）及び
「指定管理業務のみに係る決算状況（収支状況）が分かる書類」
※別紙添付資料「決算報告書」

令和７年度　　京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのサポートふれあい交流サロン「なごやかサロン」　事業報告



委託事業
(1)障害者地域生活支援センター
障害のある方や介護者等からの地域生活や福祉に関する様々な相談に応じて、福祉サービスの利用援助や情報提供等を行う。また、圏域の障害者地域自立支援協議会の運営事務局や、障害者虐待判定会議への出席、判定ケースに対する支援会議実施等の役割がある。
(2)障害支援区分認定調査業務
障害福祉サービスの利用(更新)に際して、必要となる訪問調査業務を行う。
(3)京都市精神障害者地域移行促進事業
入院患者、医療、福祉関係者等に向けた地域移行促進のための普及啓発事業。①実務者会議での協議。②ピアサポーター活動。③地域移行支援事業の普及啓発及び推進の為の取組。④地域移行促進研修の実施。
(4)京都市障害者ピアサポート基礎研修事業
自らの障害や疾病の立場・経験を活かし、ピアサポート活動を行う当事者や、そうした当事者の力や力が発揮できる環境を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図るための研修事業。
(5)京都市入院者訪問支援事業　新規
人権擁護の観点から市長同意による医療保護入院者を中心に、医療機関外の者との面会交流を確保するため、精神科病院に入院する患者への訪問相談(令和８年度～開始予定)や入院者訪問支援員養成研修(令和７年度～開始)について、実務者会議で検討や見直し等を行いながら実施する。
(6)こころのサポートふれあい交流サロン
精神障害のある方に、過ごしの場や交流の場を提供する。

指定事業
(1)指定特定相談支援(計画相談支援)
障害福祉サービス又は地域相談支援を利用する方に、サービス等利用計画(プラン) の作成や、サービスの利用状況の検証及び 計画の見直し(モニタリング)を行います。
(2)指定一般相談支援(地域相談支援)
地域移行支援: 施設等に入所している方又は精神科病院に入院している方等に、地域生活への移行のための相談やその他必要な支援を行う。 地域定着支援: 居宅において、一人で生活する方等に、常時の連絡体制を確保し、緊急の事態等に相談やその他必要な支援を行う。
(3)指定障害児相談支援(児童相談支援)
児童発達支援や放課後等デイサービスなどのサービスを利用する場合に、利用計画についての相談や作成などを支援する相談支援の仕組み。児童相談支援事業所は児童支援利用計画を作成する。

1．概要

（1） 委託費・給付費

（委託費）	令和５年度	令和６年度	令和７年度
京都市障害者地域生活支援センター運営事業	29,710,351 円	29,928,791 円	30,765,494 円
こころのふれあい交流サロン	4,765,920 円	4,819,200 円	4,353,000 円
こころのふれあい交流サロン（変動費等実績）	1,492,689 円	1,121,225 円	1,549,300 円
京都市精神障害者地域移行促進事業	3,802,560 円	3,874,560 円	3,874,560 円
京都市障害者ピアサポート基礎研修事業	1,668,950 円	1,668,950 円	2,074,070 円
京都市入院者訪問支援事業	－	－	2,408,000 円
（給付費）	令和５年度	令和６年度	令和７年度
計画相談支援給付費	6,166,119 円	9,275,796 円	12,689,989 円
障害児相談支援給付費	62,815 円	57,261 円	154,601 円
地域移行支援給付費	265,442 円	1,629,057 円	1,094,028 円

（2）職員体制（令和8年3月31日現在）

従事業務				職名	勤務形態 ※該当するものに○を記入	氏名	支援センターへの配属	相談支援に係る実務経験年数 ※、りは該当年月を記入	資格等 ※該当するものに○を記入						
市町村相談支援	指定特定	指定一般	障害児相談						相談支援専門員	主任相談支援専門員	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	臨床心理士	その他（記述）
○	○	○	○	センター長	○常勤・非常勤（常勤換算1人）	[redacted]	平成17年10月	平成17年10月～令和8年3月（計20年6月）	○	○		○			
○	○	○	○	主任	○常勤・非常勤（常勤換算0.25人）		平成28年4月	平成18年4月～令和8年3月（計19年1月）	○	○		○	○		
○	○	○	○		○常勤・非常勤（常勤換算0.9人）		平成27年8月	平成10年4月～平成18年3月、平成20年4月～令和8年3月（計26年）	○	○	○	○	○	○	公認心理士 介護支援専門員
○	○	○	○		○常勤・非常勤（常勤換算1人）		平成30年8月	平成16年5月～平成17年1月、平成18年5月～令和8年3月（計20年8月）	○		○		○		保育士 介護支援専門員
○		○			○常勤・非常勤（常勤換算0.35人）		令和4年4月	令和4年4月～令和8年3月（計4年0月）			○				
○		○			○常勤・非常勤（常勤換算0.85人）		令和5年4月	令和5年4月～令和8年3月（計3年0月）	○		○	○			
○		○			○常勤・非常勤（常勤換算0.75人）		令和6年10月	令和6年10月～令和8年3月（計1年6月）			○	○			
○	○	○	○		常勤・○非常勤（常勤換算0.1人）		平成11年8月	平成8年4月～令和6年3月（計30年0月）	○	○		○		○	公認心理士
	○		○		常勤・○非常勤（常勤換算0.2人）		令和7年11月	平成29年10月～令和8年3月（8年6月）	○			○			

[redacted]（朱雀工房　副施設長）を計画相談支援を担当する非常勤職員として雇用し、他の支援センター職員との複数担当制にて利用者へのモニタリング等の相談支援業務を担ってもらっている。[redacted]は、以前から確認していた通り、令和７年３月末をもって退職となった。退職後も、引き続き法人内の自主勉強会への参加・協力を継続してもらうことになっている。

従事業務	職名	勤務形態 ※該当するものに○を記入	氏名	入職日	資格等 ※該当するものに○を記入						その他 (記述)
サロン運営業務 派遣相談		常勤・○非常勤 (常勤換算0.8人)	表口康子	平成31年4月1日			○				
サロン運営業務 派遣相談		常勤・○非常勤 (常勤換算0.55人)	渡邊宜子	令和7年3月1日			○	○			
サロン運営業務		常勤・○非常勤 (常勤換算0.2人)	佐藤マサコ	令和7年4月1日							

渡邉職員は、同僚との人間関係を理由に2月に退職の意向を示された。事業所として、職員間の話し合いや環境改善案、業務の限定などを提示して継続を促したが、最終的には本人の強い意志を尊重し、3月末の円滑な退職に向けて勤務調整を行うことで合意した。

(3)育成面談

支援センター職員8名、サロン職員3名に対して実施した。支援センターの常勤(常勤的非常勤含む)職員7名の目標達成シートから抽出される、共通する課題や全体的な傾向や特徴は下の通りである。全体として、「個人の努力による業務遂行」から「チームとしての仕組みづくりと質の向上」へと移行しようとしているフェーズにある。また、AIの活用やスケジュール管理術など、「テクノロジーや手法を用いて業務効率化を図り、専門性を深めるための業務時間を確保していく」という方向性を組織全体として示しているのが特徴である。

- 思考の言語化と「主観的事実」のアセスメント: 多くの職員において、「自分の考えや気づきを言葉にする(言語化)」や「支援の根拠を明確にする」ことが共通の課題。単なる業務の完遂に留まらず、その背景にある社会構造や本質的な課題を捉える「課題形成」へのステップアップ。
- 業務管理の工夫と「後回し」への対策: 多忙な業務の中で、いかにタスクをコントロールし、未処理リスクを減らすかという点に多くの工夫と課題が集中している。スケジュールの視覚化、ToDoの整理など、サイボウズ等のITツールや事務的工夫、役職者によるOJT面談等で、後回しを防ぐ取り組み。
- 対人コミュニケーションと感情の自己統制: 支援現場における自身の言動が周囲に与える影響を客観的に捉え、コントロールすること。電話相談対応時の姿勢や態度、困難な場面での「回避的・消極的」な防衛的側面など、専門職としての立ち居振る舞いや態度の変容。
- 中堅・ベテラン層においては、プレイヤーから育成者・促進者としての視点への転換が共通のテーマ。

(4)外部研修等への参加状況

氏名	日程	研修・シンポジウム・勉強会名
山本洋	5月23日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」①
	5月28日	花園大学人権教育研究室 第126回例会 精神障害のある人の権利について考える ～病院で、そして地域で起きていること～
	6月15日	2025年度 京都精神保健福祉施設協議会 記念講演会 "自分らしく働きたい"を実現するために私たちができること
	6月27日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」②
	7月25日	第1回 相談支援専門員等スキルアップ研修 ～児童の相談支援について考える「寄り添う支援とはなにか」～
	7月25日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」③
	7月30日	2025年度 佛教大学社会福祉実習連絡研修会
	8月19日	ビギナー向け 生産性向上セミナー(第1回)
	9月4日	就労支援センターそらいろ勉強会
	9月15日	トラウマ理解からつながる地域社会 生きづらさとトラウマ
	9月19日	中部協議会 災害支援部会研修会
	9月29日	京都市地域リハビリテーション推進研修 ～愛着・発達障害の理解・支援～
	10月13日	こころのまなび舎 openclass No.2 トラウマと解離について理解する ～医療・福祉での実践～
	10月17日	ビギナー向け 生産性向上セミナー(第2回)

	11月8日	鴻巣麻里香さんトークイベント
	11月10日	令和7年度 第6回 高齢者虐待防止のための研修 ～高齢者及び障害者虐待防止に係る事例検討～
	11月21日	京都市市民後見人養成講座(講師派遣)
	12月4日	令和7年度 基幹支援センター研修事業 ～就労選択支援、相談支援におけるカスタマーハラスメント対応～
	12月9日	ビギナー向け 生産性向上セミナー(第3回)
	12月16日	令和7年度 京都市精神障害者地域移行促進研修
	2月16日	令和7年度 京都府・京都市 入院者訪問支援員養成研修
田中稔一	5月19日	京都府相談支援従事者初任者研修(オンデマンド録画)
	5月31日	大阪精神医療人権センター総会・記念講演会
	6月2日	京都市居宅介護等事業連絡協議会2025年度総会
	6月20日	相談支援専門員カフェ
	7月24、25日	令和7年度高次脳機能障害支援養成研修(基礎)演習
	8月18日	令和7年度障害者虐待対応に関する業務研修
	9月19日	中部協議会 災害支援部会研修会
	9月22日	支援センター合同研修 ～対人援助場面におけるコミュニケーション～
	9月25日、10月3日	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修
	11月12、13日	令和7年度 高次脳機能障害支援養成研修(実践)演習
	12月22日	入院者訪問支援事業 集合視聴
	1月13日	花園大学(講師派遣)
	1月26日	京都府入院者訪問支援員養成研修
	2月10日	相談支援専門員スキルアップ研修 ～重層的支援体制、生活保護イロハ～
	2月16日	京都市入院者訪問支援員養成研修
	3月4日	京都府障害者ピアサポート専門研修
	3月12日	全国地域生活定着支援センター協議会 近畿ブロック研修 ～被疑者等支援業務のこれまでとこれから～
植田真由	5月31日	大阪精神医療人権センター総会・記念講演会
	8月18日	令和7年度障害者虐待対応に関する業務研修
	8月25日	会話力・要約力セミナ ～あなたのその思い、伝わっていますか～
	9月15日	トラウマ理解からつながる地域社会 生きづらさとトラウマ
	9月25日、10月3日	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修
	10月13日	こころのまなび舎 openclass No.2 トラウマと解離について理解する ～医療・福祉での実践～
	11月11日	第40回 国際障害者年連続シンポジウム
	12月16日	令和7年度 京都市精神障害者地域移行促進研修
	1月27日	下京区役所 事例検討会
	2月19日	携帯電話不正利用防止法改正に伴う『誰でもスマホ』新フロー説明会
	3月4日、9日	京都府障害者ピアサポート専門研修
	3月12日	全国地域生活定着支援センター協議会 近畿ブロック研修
	3月16日	よくわかる高次脳機能障害セミナー
上原優	6月13日	令和7年度 気持ちに寄り添う 福祉職場のマナー研修
	7月25日	第1回 相談支援専門員等スキルアップ研修 ～児童の相談支援について考える「寄り添う支援とはなにか」～
	7月25日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」(第3回)
	8月18日	令和7年度障害者虐待対応に関する業務研修
	8月27日	令和7年度 京都府強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)
	9月25日、10月3日	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修
	10月10日	第2回 相談支援専門員等スキルアップ研修 ～地域生活支援拠点等のモデル整備事業、相談支援等の「記録」について考える～
	12月2日	令和7年度 京都府強度行動障害支援者養成研修(実践)2日目

	12月3日	令和7年度 京都府強度行動障害支援者養成研修(実践)3日目
	12月9日	気分(感情)障害の理解と支援
	12月22日	入院者訪問支援事業 集合視聴
	1月26日	京都府入院者訪問支援員養成研修
	1月27日	下京区役所 事例検討会
	2月10日	相談支援専門員スキルアップ研修 ～重層的支援体制、生活保護イロハ～
	2月16日	令和7年度 京都府・京都市 入院者訪問支援員養成研修
	2月25日	携帯電話不正利用防止法改正に伴う『誰でもスマホ』新フロー説明会
	3月4、9日	京都府障害者ピアサポート専門研修
中村美恵	6月27日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」(第2回)
	7月20日	西部医療的ケア 第1回定例会
	7月24、25日	京都府高次脳機能障害支援者養成研修(基礎演習)
	9月15日	トラウマ理解からつながる地域社会 生きづらさとトラウマ
	9月29日	京都市地域リハビリテーション推進研修 ～愛着・発達障害の理解・支援～
	10月13日	こころのまなび舎 openclass No.2 トラウマと解離について理解する ～医療・福祉での実践～
	10月24日	居宅介護連絡協議会「障害のある児童を取り巻く現状と課題」
	10月30日	医療的ケア児等コーディネーター
	11月9日	シンポジウム「医療的ケア児×在宅移行期」
	11月12、13日	令和7年度 高次脳機能障害支援養成研修(実践)演習
	12月5日	下京地域福祉活動 EXPO 見て・聞いて・体験する
	1月9日	下京ネットワーク講演会「こころの病、知ることから始めよう」～地域で支えあうということ～
	2月16日	令和7年度 京都府・京都市 入院者訪問支援員養成研修
中條了	6月15日	2025年度 京都精神保健福祉施設協議会 記念講演会
	8月7日	就労支援センターそらいろ勉強会
	9月8日	京都市南部障害者地域自立支援協議会 緊急時宿泊支援体制を考える専門部会 実践報告(講師派遣)
	10月6日	京都府相談支援従事者初任者研修(講師派遣)1日目
	10月7日	京都府相談支援従事者初任者研修(講師派遣)2日目
	11月8日	鴻巣麻里香さんトークイベント
	11月10日	京都府相談支援従事者初任者研修(講師派遣)3日目
	12月8日	京都府相談支援従事者初任者研修(講師派遣)4日目
	12月9日	京都府相談支援従事者初任者研修(講師派遣)(5日目・最終日)
	2月10日	相談支援専門員スキルアップ研修 ～重層的支援体制、生活保護の「イロハのイ」～
大和田香織	5月23日	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」
	8月25日	会話力・要約力セミナー～あなたのその思い、伝わっていますか～
	9月25日、10月3日	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修
	10月10日	第2回 相談支援専門員等スキルアップ研修 ～地域生活支援拠点等のモデル整備事業、相談支援等の「記録」について考える～
	11月4日	虐待防止・権利擁護研修(オンライン)
	3月4、9日	京都府障害者ピアサポート専門研修
藤井弘	11月11日	第40回 国際障害者年連続シンポジウム
表口康子	11月8日	鴻巣麻里香さんトークイベント

また、法人内研修(全体研修、階層別研修※中堅、管理)への参加や、事業所内勉強会(グループワーク)の実施によって、情報共有や必要とされる知識や技術習得の機会を補完している。

事業所内勉強会（グループワーク）実施状況

日時	内容	担当	参加数
7/29（火）	虐待防止 ～支援に役立つチェックリストをつくろう！～	[redacted]	8名
9/30（火）	集団指導、個別避難計画について		7名
11/20（木）	護身術 ～対象者を傷つけずに自らの身を守る方法～		10名
3/31（火）	災害・感染症BCP（業務継続計画）について		中止

2. 各事業における達成状況

（1） 京都市障害者地域生活支援センター運営事業

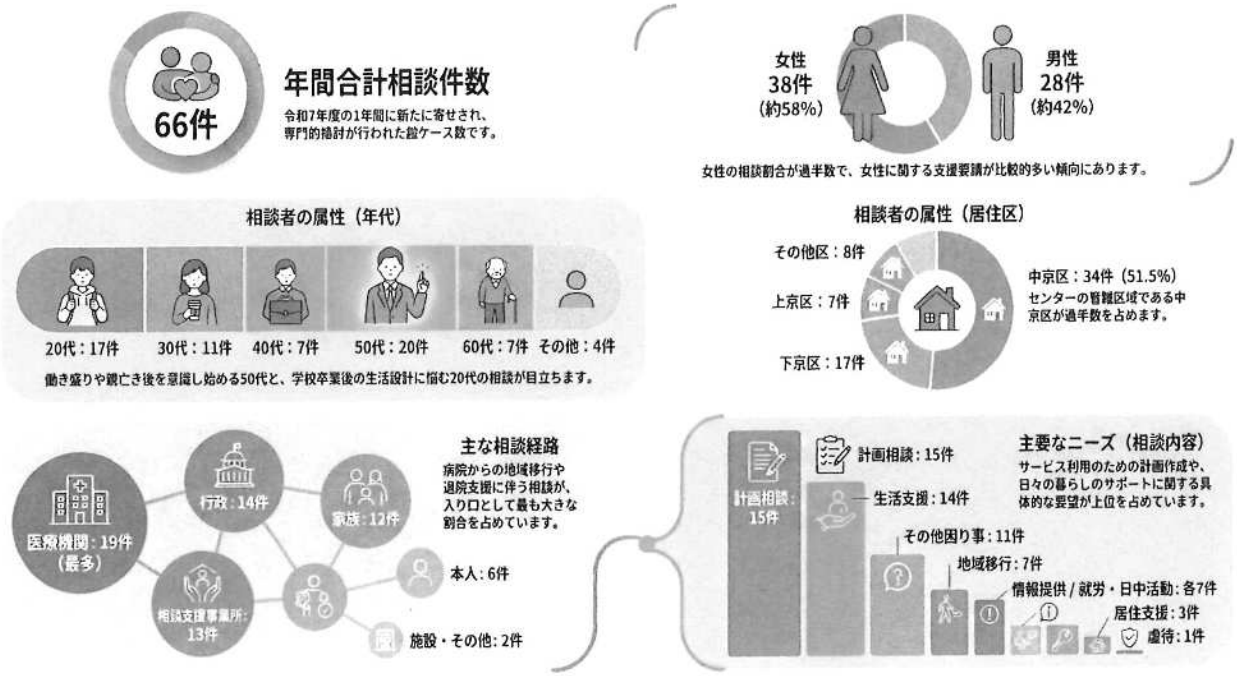
① 相談支援実績

新規、継続相談ケースについて、役職者等との複数担当制や職員ミーティングでの情報共有・協議、新規相談受付票をもとにした支援方針や担当者の検討にて、職員の抱え込みを防ぎ、支援の客観性を保つ取組を継続し、必要な方に必要な関わりを行うことができた。新規、継続相談に対応できる体制が維持できたことや、職員間での支え合いによって職員個人の成長につながったことは成果と感じつつも、超過勤務・休日出勤、支援のミス、体調不良による欠勤、ミーティングの欠席、月次報告提出の滞り等、業務量に起因すると考えられる課題は継続した。いずれ業務の質や職員の育成・定着等にも大きく影響することを懸念している。

項目	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	令和7年度（2025）
相談者（実利用人員）合計	278人	275人	285人
新規 / 継続	93人 / 185人	86人 / 189人	71人 / 214人
相談者（延相談件数）合計	8,815件	8,235件	8,640件
利用者（本人、家族等）	3,743件	3,414件	3,403件
電話	2,080件	1,643件	1,531件
来所	315件	349件	321件
訪問	915件	1,065件	1,219件
その他	433件	357件	332件
利用者以外（関係機関等）	5,072件	4,821件	5,237件
ケアプラン 作成件数	46件	23件	32件
居住サポート事業 合計	719件	1,215件	1,090件
（人居支援 / 居住支援）	94件 / 619件	79件 / 1,124件	113件 / 973件
地域での障害者支援への参加	128件	130件	138件
（虐待判定会議）	14件	13件	14件
ケース会議	85件	98件	130件
（虐待支援会議）	7件	6件	9件
派遣研修・他都市視察	44件	36件	31件
講師派遣	13件	2件	7件
センター主催（共催）研修	0件	0件	0件
職員数（実人数）	7名	8名	8名（9名）
職員数（常勤換算）	5.9人	6.0人	5.4人

- 新規相談者数の減少傾向: 令和 5 年度の 93 人から、令和 7 年度は 71 人へと新規相談者が減少している。継続相談への対応等で余裕がないセンターの状況が、関係者等に伝わっている影響から生じている可能性がある。
- 継続利用者の増加: 実利用人員において、継続利用者が 185 人(R5)から 214 人(R7)へと大きく増加しており、中長期的な伴走支援を適切に行っていることが示唆されている。
- 居住サポート事業の安定した実績: 令和 6 年度に居住支援が 1,124 件と急増し、令和 7 年度も 973 件と高い水準を維持している。地域生活への移行や継続を支える「住まい」の支援が、相談支援の主要な役割として定着している。
- 個別支援(ケース会議)と、地域連携ネットワーク参加数増加: 数値面で最も大きな変化は、ケース会議が前年度の 98 件から 130 件へと大幅に増加している。これは、計画相談支援の契約者増加や、個別の困難事例、退院支援、あるいは虐待対応など、一人ひとりの利用者に対する直接的で多機関にわたる調整業務が質・量ともに増大していることの表れである。また、「地域での支援への参加」が 138 件と過去 3 年間で最多となっており、各行政区における障害者虐待ケース(判定)会議への出席や、圏域の障害者地域自立支援協議会の事務局として、事務局会議や運営会議、全体会議の開催、市の障害者地域自立支援協議会といった基幹会議や専門部会への出席に加え、圏域協議会の「相談支援専門部会」「就労支援専門部会」「児童専門部会」「医療的ケア専門部会」「災害支援専門部会」「グループホーム専門部会」「地域課題研究会」等の専門部会やその研修会への参画、各区の「こころのふれあいネットワーク」への継続的な参加が、年間を通じて網羅されている。上京区役所における授産製品販売(出店)に関する検討会議などの活動件数や、中京区社会福祉協議会との連携による「ゆっくりどうぞ会」への協力(8 月、9 月、2 月)件数も積み重なっている。また、特別支援学校(北総合支援学校分校など)の懇談会への参加や事業所プロフィールシートの集約について協力し、卒業後のスムーズな支援への繋ぎ(計画相談)についても協議を行っている。
- 職員体制の多様化と常勤換算の減少: 職員の実人数は 8 名で変わらないが、常勤換算では 6.0 人(R6)から 5.4 人(R7)へ減少している。これは、他の委託事業との兼務関係により、支援センター業務の割合が変化していることを示している。今後は、新規職員の採用を検討するとともに、各職員の業務整理や業務効率化がさらに重要となっている。

② 新規相談の概要（合計 66 件）



令和 6 年度と令和 7 年度の新規相談動向を比較すると、総相談件数は 80 件から 66 件へと減少しているものの、相談内容がより複雑化・深化している傾向が顕著である。単なる福祉サービスの調整に留まらない、虐待、権利擁護、深刻な家族葛藤、および金銭管理の課題が絡み合ったケースが増加している。属性面では両年度とも女性が約 6 割を占め、居住区も中京区が半数以上であるが、年代別では 50 代の割合が 25%から 30%に上昇し、20 代も 23%と高い割合を示すなど、中高年層と若年層への支援ニーズの二極化が進んでいる。いずれの層も、背景に家族のサポート等が得られず、自立生活の課題に直面化しているケースが多い印象である。相談経路では、令和 6 年度に最多だった行政経由（27%）に代わり、令和 7 年度は医療機関からの紹介が 29%でトップとなり、精神科病院等からの地域生活支援や退院支援を通じた連携が加速している。また、相談内容の内訳においても、計画相談（23%）や生活支援（21%）が主軸であることに変わりはないが、虐待の疑いや深刻な家族葛藤、金銭搾取の懸念といった「その他困り事」が 11%から 17%へと大幅に増加しており、関係機関を集めたケース会議の開催や、粘り強い関係構築を必要とする困難事例への対応がセンターの重要な役割となっていることが伺える。

③ 相談支援事例 別紙

各職員にあげたもらった報告事例を総括すると、当センターが扱う案件は、親族による経済的・身体的虐待や機能不全家族との相互依存関係、解離性同一性障害と強い愛着障害の特徴を併せ持つケース、そして治療中断や生活困窮、住居の喪失といった多重的な課題を抱える困難事例が中心となっており、福祉サービスの調整を超えた高度な専門的介入が求められる現状にある。多くの事例において、当センターは医療機関や行政、法律家などの多機関を繋ぐハブ機能を果たし、既存のサービスから拒絶されがちな当事者に対しても「繋がりを断たない安全基地」として関わり続けることで、孤立の回避や生活基盤の再構築、成年後見制度の利用といった具体的な成果を上げている。

一方で、支援者への身体的暴力や激しい「試し行動」への直面、あるいは加害者側である家族の介入による支援の中断といった、単一の事業所では解決し得ない極めて困難な局面も散見された。以上のことから、今後の支援においては、対人援助職者として当事者の権利を守るための高い専門性と、多角的なアプローチを継続しつつ、支援者自身の疲弊を防ぐための「支援の限界設定」を組織内で明確に共有することや、職員の安全確保を目的としたバックアップ体制の更なる強化が、持続可能な地域生活支援を支える上での重要な鍵であると考察される。

④ その他

- 環境整備・安全管理: 個人情報保護のため、持ち出し時のセキュリティポーチや南京錠の使用を開始するとともに、個人情報保護のための回覧ボックス設置など新たな取組についても検討した。また、事業所情報を種別ごとに整理する取り組みが継続され、情報の円滑な共有を図った。事務所内にカウンターテーブルを設置し業務の円滑化を図った。
- 業務効率化(AI 活用): 議事録作成や日程調整において AI(NotebookLM 等)の活用が始まり、プロンプトのマニュアル化なども検討された。これにより、記録作成等の事務時間の短縮と情報の正確な共有が図られた。また、さらなる効率化のためにサイボウズ・キントーンの導入に向けた検討やセミナーへの参加も行われた。
- 職員のメンタルヘルスと労務管理: 計画的な有給休暇の取得促進や、メンタルヘルス月間における取り組みを通じて、職員が健康に働き続けられる環境づくりが意識された。
- 災害対策: 個別避難計画の作成や避難行動要援護者名簿の更新が進められたが、家族への確認や具体的な活用方法など一部継続中の課題も残っている。また、災害時の BCP については全体研修で点検がされたものの、内容の不十分さや実効性の課題が残っている。
- 重大事案への対応: 訪問中に職員が利用者から暴行被害を受ける事案が発生した。職員の心理的フォローのための面談を定期的に行った。警察への同行等も行い、被害届を提出するに至っている。また、本件を利用者によるハラスメントのエスカレート事案として捉え、カスタマーハラスメントへの対応ガイドライン(案)を作成し、職員間で共有した。加害行為から逃げるための護身術として、外部講師による講習会も実施している。
- 新規職員の採用: 令和 8 年度 4 月からの新卒職員(家本氏)の採用が決定したため、3 月より内定者研修や職員ミーティングへのオブザーバー参加をしてもらい、スムーズな入職となるよう準備を行った。

（2） 障害支援区分認定調査業務 【実施担当者：[redacted]

委託のあった 5 件中 4 件の調査業務を福祉サービスの更新時期にあわせて計画的に実施した。当センターでの調査が困難となった 1 件については、委託元や管轄の区役所担当課と状況を共有し、当センターでの調査は実施しないことになった。

（3） 京都市精神障害者地域移行促進事業 【担当者：[redacted]

精神科病院に入院している精神障害者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう、医療・福祉・地域の密接な連携を通じて円滑な地域移行を促進することが本事業の目的である。令和 7 年度は、実務者会議での検討ケース数の増加やピアサポーターの登録者数増加、要望書としての整理などから、地域移行支援の「質」の向上や普及啓発活動の土台を整備できたことは成果と言える。一方、特定の機関に地域移行支援の負担と実績が集中している状況があるため、今後は未実施の病院や事業所を巻き込み、支援者の増加や病院側の意識変容といった、具体的成果に結びつくようなアプローチの精査が求められている。また、入退院の局面だけでなく、地域全体で精神障害者を支える「にも包括（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム）」の視点から本事業を再定義していく必要がある。京都市の各圏域で精神障害のある方を支援することについて総合的に協議する場が不足している状況を指摘されているため、本事業がその一助となるよう行政や他事業との連携強化を図る必要がある。

① 実務者会議にて情報共有とケース検討

実務者会議は、地域移行の具体的なプロセスを協議する事業における中核的な場である。令和 7 年度は開催回数を従来の月 1 回ペースから年 7 回へ削減している。参加延人数は減少したものの、検討ケース数は 3 年前の 33 件から 43 件へと着実に増加している。ケースについて具体的な検討を行い、24 名が地域移行支援の利用に至り、最終的に 17 名（うち 4 名は事業利用無）が退院していることを確認した。高齢を理由に地域移行の支給決定が下りなかった事例などの課題も共有した。一方、参加者実数が 28 名、参加機関数が 16 機関と、3 年前（48 名・20 機関）と比較して縮小傾向にある。参加メンバー・機関数の固定化や、地域移行支援を実施している病院数および事業所数も過去 3 年間ほぼ横ばいであることから、事業の「広がり」が停滞している現状が浮き彫りになっており、大きな課題である。今後は、既存のメンバーによる質の高い検討を維持しつつ、未参加の病院や事業所をいかに巻き込んでいくかが重要な焦点である。

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数	11 回	11 回	7 回
参加者（実数）	48 名	39 名	28 名
参加者（延数）	213 名	197 名	115 名
参加機関数（実数）	20 機関	17 機関	16 機関
ケース検討数	33 件	38 件	43 件
うち退院数（把握分）	11 名	17 名	17 名
地域移行実施病院数	7	6	7
地域移行実施事業所数	6	7	6

② 「病院」「地域」それぞれに対する普及啓発活動の取組

地域移行への理解を深めるための普及啓発活動は、本事業の重要な柱の一つです。いわくら病院での「出前講座」（地域の 7 事業所と合同）、京都文教大学・同志社大学・花園大学での事業説明や体験談発表、第 2 北山病院でのプログラム参加、五力工房（B 型事業所）での勉強会などを行った。数値上は年間約 40 回、1,200 名規模の活動を維持しているが、それが実際に支援者の増加や病院側の構造的な意識変容（地域移行への積極的な姿勢）に結びついているのかという点に課題もある。今後は「顔の見える関係」を築くだけでなく、具体的な成果（病院からの新規相談依頼増や指定一般相談支援事業所の増加など）を意識した働きかけを強める必要を感じている。

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	38 回	45 回	37 回
参加者数（延）	1,305 名	1,420 名	1,185 名

③ 普及啓発と地域移行支援の質の確保や向上のための地域移行促進研修の検討・実施

12 月 16 日に「地域移行促進研修（精神障害者支援体制加算対象）」を開催し、46 名の参加があった。弁護士による人権擁護の講演や、病院・地域双方の実践報告、当事者からの体験談発表を通じ、「本人のしたい生活」を支える視点を共有した。研修アンケートでは、病院相談員同士の交流や他院の取組を知る機会を求める声が上がっており、顔の見える関係性をさらに深める工夫が必要となっていることを確認した。

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
研修参加者数(延)	53名	63名	46名

④ ピアサポーターと協働した普及啓発活動と養成研修等でのピアサポーター拡大

活動頻度は年50回以上と安定して推移している。7月には当センターにて「精神科病院からの退院を支援するピアサポーター養成講座」を開催し、新たに8名のピアサポーターが登録をされ、登録者数が19名に拡大できたことが大きな成果である。活動では、病院での交流会「ぴあサロン」や地域での語り合いの場「ぴあトーク」を通じて、入院患者への退院意欲喚起や地域での普及啓発に貢献した。一方で、活動に従事できるメンバーが固定化される懸念もあり、新規登録者の活動定着が令和8年度の課題となっている。

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動回数	58回	50回	53回
活動参加人数(延べ)	98名	82名	86名
登録者数(年度末)	13名	11名	19名

⑤ 契約に至る前の関わりの重要性や課題、改善策についての協議

実務者会議にて重点的な意見交換を行い、契約に至るまでの信頼関係構築や退院意欲の喚起といった支援過程を正当に評価するような委託費や報酬体系の改善を「要望書」として集約した。信頼関係を築く過程の評価と報酬化が重要であると再確認された。集約した要望書の具体的な活用方法や、用途に合わせたブラッシュアップが今後の課題となっている。

⑥ 障害者地域自立支援協議会、地域生活支援拠点との重なりを意識した連携と、市の広域課題に応じた取組

京都市中部障害者地域自立支援協議会の専門部会である「相談支援専門員カフェ」に赴き、制度説明や実践報告を他の実務者会議メンバーとともに行い、地域の相談支援専門員と精神障害者の地域移行支援について意見交換を行った。また、実務者会議にて地域生活支援拠点事業(※京都市では、障害のある方が地域で安心して暮らせるよう、緊急時の相談・対応や短期入所の確保などを総合的に支援する体制を進めている。重度化や高齢化、親亡き後を見据えて、市内の各ブロック(障害保健福祉圏域)で面的に整備が進められている)との連携に向けた現状把握も行っている。京都市での「にも包括(精神障害にも対応した地域包括ケアシステム)」の構築に向けて、本事業が全体像の中でどう機能すべきか、行政や関係機関とのさらなる協議の場が必要である。

(4) 京都市障害者ピアサポート基礎研修事業 【担当者 [redacted]

自らの障害や疾病の立場・経験を活かし、ピアサポート活動を行う当事者や、そうした当事者の力や力が発揮できる環境を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図るための研修事業である。

① 令和7年度計画と達成状況

令和7年度計画	達成状況
研修実施に向けた各講師の打ち合わせと運営会議での共有。	〔達成〕 運営会議および振り返り会議を計5回実施。5科目それぞれの講師と事務局による個別打ち合わせを各1回実施した。
研修当日の会場、オンラインのハイブリッド開催の円滑実施。	〔達成〕 昨年度中にバリアフリーで大人数収容できる京都テルサを確保。京都府および運営メンバーと協力し、会場設営、オンライン管理、役割分担を行い円滑に実施した。
会場、オンライン参加の定員と選考基準を適切に設定し、案内。	〔達成〕 定員を80名に設定。京都府北部の一部地域のみオンライン受付を行い、最終的に69名の申し込みを受け付けた。
研修受講時の合理的配慮(点字資料等)の確認と対応。	〔一部達成〕 時間を要する点字資料作成のために、期限を設けて準備を完了していたが、当日に点字資料の追加希望があり、急遽2日目までに対応をすることになった。事前把握の精度に課題が残った。
適切な委託費確保に向けた協議のため、必要経費の実態を把握。	〔達成〕 講師・研修実施・事務局経費の実態を把握し、収支0円で適切に管理・執行した。
京都府が行う専門研修との整合性を図るための情報共有。	〔達成〕 事務局会議を開催し、研修実施状況や運営会議の内容を共有。専門研修の当日運営や一部講義の講師を担当するなど、実務面でも協力した。
事務や当日人員など、外部からのマンパワーを活用。	〔達成〕 受講決定通知の作成・発送、アンケート集約等を一部「朱雀工房」へ委託し、事務効率化を図った。

② 研修実施実績

項目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施時期	11 月 10 日・24 日	10 月 18 日・24 日	9 月 25 日・10 月 3 日
会場	京都テルサ	ハートピア京都	京都テルサ
申込数	82 名	84 名	69 名
受講者数	72 名	77 名	59 名
修了者数	71 名	77 名	59 名

③ 成果と課題

- 新たな試みと成果： 今年度は研修の理解促進のため、研修当日、新たに「オリエンテーション」の時間を設定し、研修の成り立ちやグラウンドルールの確認を行い、アンケートでは「大切にしていることがよくわかった」「安心して参加できた」と好評を得た。また、研修当日のグループ演習効果を高めるため、グループのファシリテーターを設定し、事前の打ち合わせを行っている。また、講師の体調不良等への備えとして、一部講義で事前の動画撮影を試行的に実施している。
- 合理的配慮への対応： 今年度は点字資料の提供に加え、当日急遽希望のあった読み上げソフト用テキストデータにも 2 日目に間に合うよう対応した。次年度以降は、申し込み時のチェック項目を具体化し、情報保障のニーズをより早期に把握できるよう改善を図る。
- 運営上の課題： 外部（朱雀工房）への事務委託により負担軽減は図れたが、担当者間のコミュニケーションや業務分担において課題が残った。また、「基礎研修と専門研修の差別化（内容の重複）」も指摘されており、受講者が段階的に学べるよう、専門研修側へのカリキュラム改善提案を含めた連動性の強化が必要となっている。
- 次年度に向けて： 新たな運営メンバー候補の推薦があったため、令和 8 年度以降の講師依頼に向けて調整を進める。また、委託費に見合った業務負担となっているか、人件費を含めた精査を継続していく必要がある。講師の属性（障害分野）の偏りについても話題となっており、今後も様々な障害のピアサポーター養成を意識した研修となるよう検討が求められている。

（5） 京都市入院者訪問支援事業 【担当者： [redacted] 新規

人権擁護の観点から、精神科病院の入院者の意向を汲み取り、病院外の者との面会交流を確保するための事業である。令和 7 年度は令和 8 年度からの本格実施に向けた基盤整備と養成研修を中心に取り組んだ。

① 令和 7 年度計画と達成状況

令和 7 年度計画	達成状況
先行事例の情報収集。	〔達成〕 近畿ブロック会議（10 月）や都道府県等担当者会議（1 月）に出席。神戸市、大阪市等の先進事例（訪問体制、予算、事務局運営の課題等）の情報収集を行い、本事業の運営に反映させた。
普及啓発の為のパンフレット（病院・患者向け）の作成。	〔達成〕 京都府と合同で「病院向け」と「患者向け」の 2 種類（各 2,000 部）を作成。視認性の高いポスターもあわせて作成した。
京都市と協力しての精神科病院等への事業周知（病院訪問等）。	〔達成〕 市内 11 箇所と府下 2 箇所の精神科病院と、市内の各区役所保健福祉センターへチラシやポスターを配布。計 13 病院を訪問し、医師や相談員等に直接制度説明を実施。一部、京都府とも同行し広域連携を図った。
地域事業者への周知、訪問支援員の登録。	〔達成〕 9 月に京都弁護士会館にて弁護士や相談支援事業所等を対象とした周知活動を実施（25 名参加）。訪問支援員の登録基盤を整備した。
訪問支援員養成研修実施に向けた調整と実施。	〔達成〕 京都府と合同実施。12 月～1 月にオンデマンド講義、1 月・2 月に対面演習を実施。計 69 名が講義を修了し、講師や事務局含め 74 名を京都市の訪問支援員として登録した。
実務者会議実施に向けた調整、準備。	〔達成〕 京都市との協議により次年度 3 回の実施を確認。内容や参加者について継続協議中である。

② 研修および登録実績

令和 8 年度からの訪問開始に向け、支援員の養成と登録を重点的に行った。

項目	内容・実績
養成研修（講義）	令和 7 年 12 月 8 日～令和 8 年 1 月 13 日（オンライン配信） ／修了者：41 名（京都市）、37 名（京都府） 計 78 名
養成研修（演習）	令和 8 年 1 月 26 日（対面：ハートピア京都）／修了者：35 名 令和 8 年 2 月 16 日（対面：COCO・てらす）／修了者：34 名 計 69 名
訪問支援員登録数	総数 74 名（当事者 26 名、当事者以外 48 名） ※講師や事務局等含む

③ 成果と課題

- 顔の見える関係構築と周知の成果：初年度として、市内主要病院（13 箇所）への直接訪問を通じ、医師、相談員、看護師等へ制度の直接説明を行えたことが成果である。特に、京都府と同行した西山病院や長岡病院への訪問は、広域的な連携を強化する機会となった。
- 病院側の意識と受け入れの課題：一部の病院からは「対象者がいない」という反応もあり、病院間での事業活用の意識に差が見られる。本事業の利用希望がゼロということは考えにくいため、今後いかに事業の意義を浸透させ、活用を促していくかが課題である。
- 訪問支援員の役割整理：研修等を通じて、普段は「相談員」や「弁護士」として活動する支援員が、本事業において「話を聞く専門の訪問員」としての役割をどう切り分けるかという難しさが指摘されている。関係者や利用者に対し、混乱を招かないための丁寧な役割説明と支援体制の整理が求められる。
- 次年度の本格実施に向けて：令和 7 年度で整備した登録者名簿や病院との関係性を土台とし、令和 8 年度からは実際の訪問相談を開始する予定である。専用の連絡先（携帯電話・メール）も設置済みであり、受付体制の運用を本格化させる。

（6） こころのサポートふれあい交流サロン 【担当者：[redacted]

令和 7 年度計画と達成状況

令和 7 年度計画	検討・実施項目	令和 7 年度の実績および具体的検討内容
精神障害者の居場所の在り方についての再検討	他団体居場所の視察	「地域コミュニティみんてら（本願寺角坊）」(5/21)、「インクル（下京区）」(5/23)、「区社協カフェ（中京区）」(6/5)、「ゆかりカフェ（まごのて一条）」(6/17)の 4 箇所を視察し、防災食の提供などの活動案を得た。
	利用者ニーズ調査	4 月～9 月に聞き取りを実施。「開いているだけで良い」「サロンはそういう場所」という、居場所の本質的な価値を確認した。土日祝の開所や、夕方以降の時間延長を望む切実なニーズが把握された。
利用者ニーズに合わせた事業の検討	レクリエーション	アートフラワーのワークショップ、七夕・お彼岸・クリスマス・新年会・ひな祭りなどの季節の茶話会を実施。また、調理活動（たこ焼き、お菓子作り）や映画鑑賞、カラオケへの高いニーズを確認した。
	相談会・勉強会	「働くこと」「お金の使い方」「地震への備え」「居住支援」などをテーマに定期開催。利用者は「将来の生活（自身の高齢化、親の介護、年金）」への不安を強く抱いていることが明確になった。
	喫茶業務・地域交流	一般客対象の喫茶は立地上の集客が難しく、食事提供も設備面から困難との認識を共有。将棋、オセロ、トランプを通じた交流を継続。将棋人口の減少に対する工夫が今後の課題。
安心、安全な居場所となるための個別相談	個別相談の実施実績	年間 174 件（上半期 64 件、下半期 110 件）の相談に対応。内容は就労、病状、住居、家族関係、金銭管理など多岐にわたる。障害福祉サービスの通所施設等の職員の多忙さに対し、サロンは「来所時にタイムリーに相談できる場」としての役割を果たした。
	トラブル対応と利用制限	利用者間の話し方や言動を巡るトラブルに対し、個別面談や休息の促しによる介入を実施。利用者の暴力行為に対する利用停止措置や、心身の状態悪化に伴う管理困難事例への利用自粛要請など、安全確保のための毅然とした対応が行われた。

① 基礎事業

- 利用者数

来所者（実数）は昨年度から微減しましたが、来所者（延数）は昨年度の落ち込みから大幅に回復し、1,600 名を超えました。新規利用者が 26 名と過去 3 年で最も多く、新たな層へのアプローチが成功しています。延べ人数も前年度比で約 14%増加しており、1 人あたりの利用頻度が向上し、居場所としての定着が進んでいることが伺えます。

年度	新規（実数）	継続（実数）	来所者実数	来所者延数
2023 年度	19	58	77	1,985
2024 年度	21	67	88	1,415
2025 年度（R7）	26	54	80	1,615

- 地域交流活動（実施件数と参加者数）

レクリエーションよりも、相談会や「ぴあトーク」などの勉強会形式の活動が活発に行われました。実施件数・参加者数ともに過去 3 年で最高値を記録しました。特に相談会・勉強会の参加者が大幅に増加しており（昨年度 96 名→今年度 151 名）、利用者の「学び」や「ピアサポート」への関心の高さが反映されています。

年度	レクリエーション	相談会・勉強会	合計実施件数	参加者合計
2023 年度	14 件	33 件	47 件	216 人
2024 年度	13 件	28 件	41 件	179 人
2025 年度（R7）	12 件	38 件	50 件	252 人

- 1 日（1 回）当たりの利用者数

1 日平均の来所者数は回復傾向にあります。全ての項目で昨年度の平均を上回りました。特にレクリエーション 1 回あたりの参加人数が 8.4 人と大幅に増えており、集団活動の熱度が高まっていることが分かります。

項目	2023 年度	2024 年度	2025 年度（R7）
来所者平均	7.0 人	5.0 人	5.9 人
レクリエーション平均	6.9 人	6.4 人	8.4 人
相談会・勉強会平均	3.6 人	3.4 人	4.0 人

- 利用者登録状況

年度末時点の登録者数は 80 名となり、増加に転じました。登録者数は昨年度から 12 名増加しました。内訳を見ると、福祉サービスを利用していない層が 4 割を超えて維持されており、既存のサービスに繋がっていない方々の「最初の相談窓口」や「居場所」としての役割を安定して果たしています。

年度	登録者数	福祉サービス利用あり	福祉サービス利用なし
2023 年度	74 名	-	-
2024 年度	68 名	41 名（60%）	27 名（40%）
2025 年度（R7）	80 名	46 名（57.5%）	34 名（42.5%）

- 他団体居場所事業 視察実績

視察実施日	視察先名称（所在地等）	出典ソース
令和 7 年 5 月 21 日（水）	地域コミュニティみんてら（本願寺角坊）	令和 7 年 5 月分実績報告
令和 7 年 5 月 23 日（金）	インクル（下京区社協）	令和 7 年 5 月分実績報告
令和 7 年 6 月 5 日（木）	区社協カフェ（中京区）	令和 7 年 6 月分実績報告
令和 7 年 6 月 17 日（火）	ゆかりカフェ（まごのて一条）	令和 7 年 6 月分実績報告

② 基礎事業（変動費）

通所支援や相談支援の件数増に伴い、請求金額も増加しています。請求金額が前年度の約 2 倍に急増しました。これは月 4 日以上の安定した通所者（通所支援加算対象）が増えたことと、来所・電話相談の件数が年間で 174 件に達したことによるものです。

年度	請求金額合計	主な内訳（令和 7 年度）
2023 年度	189,870 円	通所支援: 87,000 円（29 件）、相談支援: 91,000 円（182 件）
2024 年度	177,000 円	通所支援: 114,000 円（38 件）、相談支援: 63,000 円（126 件）
2025 年度（R7）	357,000 円	通所支援: 270,000 円（90 件）、相談支援: 87,000 円（174 件）

③ 機能強化事業

- 派遣相談、相談会実績

他サロンへの専門員派遣や自サロンでの専門職相談会も高い水準で推移しました。派遣回数はほぼ横ばいですが、相談延件数が過去最高となりました。派遣先での個別の相談ニーズが深まっており、より専門的な支援が求められている現状が浮き彫りになっています。

年度	派遣回数	（派遣交通費）	相談延件数	（支援対応費）	相談会・勉強会	（相談会加算）
2023 年度(R5)	112 回	67,200 円	173 件	324,375 円	33 回	911,244 円
2024 年度(R6)	107 回	63,600 円	171 件	320,625 円	28 回	560,000 円
2025 年度(R7)	108 回	64,800 円	196 件	367,500 円	38 回	760,000 円

- 派遣先サロン別件数（派遣回数）

各行政区のサロンへ概ね月 1～2 回ペースで安定した派遣を行っています。下京や中京への派遣が増加傾向にある一方、伏見への派遣が減少しています。これは各サロンの運営状況や専門員へのニーズの変化によるものと考えられます。

派遣先サロン	2023 年度	2024 年度	2025 年度（R7）
山科（るまん）	21	20	22
伏見（つばさ）	21	19	8
上京（はんなり上京）	23	21	24
中京（円町サロン）	23	24	25
下京（ふう）	24	23	28

（7） 指定特定相談支援事業（計画相談支援）

相談支援専門員初任者研修は、当センターの主催研修と重なり、受講できなかったため、令和 8 年度に 2 名の職員が受講予定となっている。計画相談支援の実績は、契約者数および請求金額ともに 3 年間一貫して右肩上がりに推移している。指定事業所の数が地域のニーズに対して圧倒的に不足しているため、当センターへの新規依頼も継続しており、当センターにおいても担当職員を拡大し、分担して対応した。

- 実績比較表

項目	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）	令和 7 年度（2025）
契約者数 月平均（人）	51.8	54.8	64.3
請求数 月平均（件）	30.1	32.5	54.3
毎月モニタリング平均（件）	41.7	43.3	54.3
3 箇月モニタリング平均（件）	7.8	8.4	7.6
6 箇月モニタリング平均（件）	2.4	3.0	1.6
1 年モニタリング平均（件）	0.0	0.0	0.0
請求金額 合計（円）	6,166,119 円	8,452,283 円	12,482,434 円

（8） 指定一般相談支援事業（地域移行支援）

特定の職員に偏ることなく、地域移行支援を行う状況が作られつつあることや、5 名の利用者のうち 3 名が退院（2 名は次年度継続）できたことにより、令和 8 年度も報酬額の高い地域移行支援サービス費（Ⅰ）を算定することができるようになっている。

- 実績比較表

項目	令和 5 年度（2023）	令和 6 年度（2024）	令和 7 年度（2025）
契約者数 月平均（人）	2.9	2.5	2.17
請求数 月平均（件）	0.6	2.2	2.1
実働数 月平均（件）	7.0	7.7	7.3
請求金額 合計（円）	265,442 円	1,357,012 円	1,132,325 円
年齢（歳）※支援開始時	47	55	46
入院期間（ヶ月）※支援開始時	31	18	7
支援期間（ヶ月）※支援終結時	11.3	8.8	8.6
退院率（%）※支援終結時	67	100	60

（9） 指定障害児相談支援事業（障害児相談支援）

- 実績比較表

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
月平均契約者数	2.1 名	2.5 名	3.0 名
年間請求金額合計	62,815 円	43,792 円	154,598 円
モニタリング頻度（毎月）平均	0.2 件	0.0 件	0.0 件
モニタリング頻度（３ヶ月）平均	0.0 件	0.6 件	1.0 件
モニタリング頻度（６ヶ月）平均	0.8 件	1.8 件	2.0 件
モニタリング頻度（１年）平均	0.0 件	0.0 件	0.0 件

3．中長期に向けた取組

（1） 職員体制の強化と処遇改善

組織の安定性を高め、質の高い相談支援を継続するための基盤整備のため、常勤職員の確保と育成、処遇改善（支援センター職員の業務量や質、役割や責任の重さに見合った「支援センター職員手当」の創設）、役職者によるリーダーシップの評価と昇格について、法人本部に理解と協力を求める。

（2） ICT 活用による業務改善と超過勤務の削減

多忙な業務の中で専門性を深める時間を確保するため、テクノロジーを用いた効率化を推進する。AI（NotebookLM 等）を用いた記録等の文書作成や日程調整等を本格化させ、今後はクラウドのデータベースの導入によってさらなる効率化を目指す。業務量の増大に対し、業務整理や分担を進めながら、タスク管理の工夫、IT ツールの活用等を行い、超過勤務の削減に向けた取組を継続していく。

（3） 困難ケースへの組織的対応と専門性の向上

愛着障害やトラウマへの視点を持ち、対象者への理解を深めることで、専門職としての立ち居振る舞いやアセスメント力の向上を図る。また、支援が困難な事例に対し、個人の努力・力量のみに頼らずチームとして対応する体制を重視していく。

（4） 安全管理と事業継続の高度化

職員と利用者の安全を守り、不測の事態に備えるための体制を整備する。カスタマーハラスメント対応ガイドラインに沿ったケース検討や、ガイドラインの見直しを全職員で行っていく等して、職員の安全確保への意識を強化する。また、個人情報保護として整備が不十分な事柄（個人情報が記録されたノートパソコン・業務用携帯・タブレット、書類等を施錠できるキャビネット、書庫などに保管することや、管理者が個人情報の所在と搬送方法把握すること、搬送時に施錠した鞄に入れること、業務用携帯持ち帰り等の手順）への改善が必要である。このような環境整備の一環で、事業所情報や職員情報等の整理も図りたい。また、災害対策として、実行性のある業務継続計画（BCP）の作成や、個別避難計画の具体化に取組む。

（5） 委託相談と指定事業の分離・拡充に向けた構想

委託の相談支援事業（支援センター事業）と、指定特定・一般相談支援事業としての役割を段階的に切り分け、それぞれ拡充していく必要性と、新たな指定特定・一般相談支援事業の開設案について当センターの職員間で共有してきた。当センターにおける職員育成・定着状況を鑑みて適切な時期に検討チームを立ち上げたい。

資料①

京都市障害者地域生活支援センター　相談支援実績報告書

令和7年4月～令和8年3月分

相談事業者名：京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

①相談者（実利用人員）

新規	71	人
継続	214	人
合計	285	人

②相談者の方法別相談延べ件数

	利用者（本人，家族，保護者等）				利用者以外												合計
								福祉サービス事業所・施設					医療機関（デイケア含む）	教育機関	就労関係機関	その他	
	来所	訪問	電話	その他	WO	UC	相談支援機関	居宅介護等	通所	短期入所	GH CH	入所					
身体	0	35	49	2	44	0	11	73	0	0	0	0	48	0	0	5	267
知的	34	35	136	13	32	0	15	49	17	1	6	0	5	4	4	37	388
精神	151	564	639	129	414	0	157	352	198	0	34	8	624	1	5	206	3482
重複	66	357	511	111	299	0	114	431	172	0	38	6	482	3	1	190	2784
障害児	21	16	21	8	25	0	12	6	16	0	0	0	9	10	0	3	147
その他	49	212	175	69	206	3	136	172	81	0	18	25	281	1	2	142	1572
合計	321	1219	1531	332	1020	3	445	1083	484	1	96	39	1449	19	15	583	8640
			3403													5237	

③相談支援内訳

	制度説明	居宅生活		施設	地域移行	自立生活	教育保育	就労	福祉用具	住居	介護保険		医療（デイケア含む）	金銭管理	その他	合計
		居宅介護等	その他								居宅	施設				
身体	2	121	36	0	3	0	0	0	8	12	3	2	78	0	59	324
知的	10	109	33	53	0	3	0	11	0	6	0	0	25	32	169	461
精神	32	760	475	492	65	10	5	56	1	116	5	5	958	192	1349	4521
重複	17	642	259	461	19	16	3	49	29	68	15	2	634	224	938	3376
障害児	0	21	13	37	1	0	30	0	0	0	0	0	17	0	75	194
その他	20	293	192	223	55	13	8	42	9	66	5	1	327	108	515	1877
合計	81	1946	1008	1276	143	42	46	158	47	268	28	10	2039	556	3105	10753

④ケース会議等

	ケース会議参加件数	ケアプラン作成件数	セルフプラン作成援助
身体	3	1	1
知的	8	2	1
精神	53	12	8
重複	23	8	7
障害児	4	2	2
その他	37	7	7
合計	128	32	26

③相談支援内訳のうち

居住サポート事業		
入居支援	113	件
居住支援	973	件
緊急対応	4	件
合計	1090	件

⑤会議・研修等

地域での障害者（児）支援への参加	研修事業		
	センター主催（共催）研修	講師派遣	派遣研修・他都市視察

資料②-1

『苦情対応』

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

◇苦情対応1.

タイトル： 訪問先で法人の自転車の鍵を紛失し、利用者を心配させてしまった

対応月： 令和7年9月

苦情内容： 訪問先のマンション（オートロック付）で自転車の鍵を紛失したことに退去後気づき、鍵を探すために訪問終了後に再度室内へ立ち入ることになったこと。

対応結果： 鍵は、第三者が拾ってマンションの管理室前に届けてくれており無事に見つかった。訪問をした本人からは「鍵が見つかったか」の問い合わせ電話が当センターに入っていた。帰所後に本人に連絡して経緯を説明し、改めて謝罪した。

◇苦情対応2.

タイトル： 本人と足並み揃えた事業所調整とならなかった

対応月： 令和7年9月

苦情内容： 入院中から退院後のヘルパー調整を行っていた。毎日ヘルパー支援が必要であったため、複数箇所の事業所調整が必要であった。本人はできるだけ事業所数を少なくしたいと希望していたことから、本人自ら、特定の一事業所との間でその意向を中心としたやりとりが進んでしまっており、当センターはその状況を後から把握することとなった。結果として、当センターにて調整した内容と異なる支援体制が作られてしまった。当センターからは入院中から関わってもらっていた事業所に対して、退院後の支援を断る結果となってしまい、当センターはその事業所から強い苦情を受けた。

対応結果： お断りした事業所から説明を経緯の説明を求められたため、事業所と直接話す機会を作ろうとしたが、連絡がつながらず、書面にて経過報告を行った。

◇苦情対応3.

タイトル： 本人の思いや考えを汲み取ることの難しさ

対応月： 令和7年8月

苦情内容： 毎月定期面談行い、本人の求めとペースに合わせて数か所のグループホームの見学同行をしていたが、本人より、突然「相談員を変えて欲しい」と言われる。理由がわからず混乱したが、関係機関を通じて把握した理由としては「一人暮らしを強く勧められてしんどくなった」という内容であった。

対応結果： 関係機関に間に入ってもらい、当センターの他の相談員へ引き継ぐ対応をした。本人に対して2択ともとれる話し方をしていたのかもしれないとの反省がある。本人より、グループホームは利用者同士の人間関係への不安があることや、最近自炊にハマっているという話を聞いたので、ヘルパーや訪問看護などのサービスを利用しての一人暮らしも選択肢に入るのではないかという話をしたことがあったが、強く勧められたと本人が感じているとは思いもしなかった。

◇苦情対応4.

タイトル： 居住支援法人とのトラブル

対応月： 令和7年12月

苦情内容： 他の住人への迷惑行為等があったため、退去を求められ、賃貸借契約解除となった。そのため、生活保護費の住宅扶助が支給されなくなったが、本人が退去せずその部屋に住み続けたため(次のマンションが決まらなかったため)、家賃相当分として毎月マンションからお金が引き落とされ、最低生活費に支障がでる状況となった。オーナーとの間に入ってくれていた居住支援法人に相談したが、「弁護士という言葉を使って欲しくない」「オーナーとも直接やりとりして欲しくない」「うちはボランティア、役割をわかってもらっていない」と怒りをあらわにされた。

対応結果： 相談したかった意図を説明し、居住支援法人の担当者に謝罪した。対象となっている利用者やオーナーとの関係で疲弊している担当者への配慮が足りなかった。相手の求め通り、オーナーとの直接のやりとりは控え、転居手続きを進めた。弁護士への相談が必要な状況ではあったが、居住支援法人に対して共有するべき内容ではなかったのかもしれないと思っている。

◇苦情対応5.

タイトル： 利用者から相談しにくいとの苦情(サロン)

対応月： 令和7年9月

苦情内容： サロン開所時に、特定の職員が利用者の家族と長時間話をしており、本来の利用者が相談しにくい状況にあることへの不満が、サロンの意見箱に投書されていた。

対応結果： 職員より、サロンは家族や地域住民も利用可能な場所であることや、相談時はいつでも声をかけてほしい旨を口頭で説明した。本人は説明を聴いて納得し、文書回答は不要とした。

◇苦情対応6.

タイトル： 職員の勤務態度や差別的発言への指摘(サロン)

対応月： 令和8年1月

苦情内容： 特定の職員による外国人差別的な発言、他の利用者と一緒になって人を馬鹿にするような態度、および不真面目な勤務態度(ただ雑談している、お茶入れだけしているように見える)という厳しい内容がサロンの意見箱に投書されていた。

対応結果： 内容が特定の個人に対する強い攻撃性を含む内容であるため、事実確認と、職員間での話し合いや当該職員の勤務日数変更について検討を行い、当該職員に対して事業所として適切な指導を実施した。後日、本人との面談でこれらの対応を報告し、本人の捉え方の問題や、誤解である面についても丁寧に説明をして、理解を得ている。

資料③-1

実習生

日程	時間	実習（大学名）	人数	実習担当者
2/2～2/28（1ヶ月間）	78時間	精神保健福祉士実習（佛教大学社会福祉学部社会福祉学科3回生）	1名	山本洋

地域での障害者（児）支援への参加

日程	時間	会議名	場所	参加者名
4月3日	10:30～	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（2026年度4月）	ZOOMオンライン	[redacted]
4月 0日	11:00～	京都府福祉職場就職フェア実行委員会（オンライン開催）	オンライン	
4月 1日	13:30～	虐待ケース会議（下京）	下京保健福祉センター障害保健福祉課	
4月 2日	10:00～12:30	令和7年度第1回　ピアサポーター勉強会	光彩の会多目的室	
4月 3日	13:30～	虐待ケース会議（中京）	中京区役所2F会議室	
4月 6日	10:30～11:45	地域移行ミーティング	京都光彩の会多目的室	
4月 7日	11:00～	相談支援専門員カフェ	バザールカフェ	
4月 7日	09:30～10:30	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議（2025年度第1回）	下京区役所4階　第3会議室	
4月 8日	14:00～	中部支援センター支えあいの会打ち合わせ	ZOOM（面談室2）	
4月 9日	15:44	ロックンロールの会（日弁連）	ZOOM（光彩の会　多目的室）	
4月22日	10:30～11:15	地域課題研究会担当者会議（2025年度第1回）	光彩の会多目的室（COCO　てらす東館4F）	
4月23日	09:30～11:30	（作成中）第1回実務者会議（令和7年度京都市精神障害者地域移行促進事業）	COCO・てらす東館4階　光彩の会多目的室	
4月23日	15:00～16:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院	
4月28日	15:30～	下京こころのふれあいネットワーク第1回実務者会議	下京　2階　多目的室	
5月1日	15:30～	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（2025年度第2回）	zoomオンライン	
5月12日	13:30～	令和7年度中京区こころふれあいネットワーク実務者会議	中京区役所　大会議室	
5月15日	10:45～	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議（2025年度第1回）	下京区役所4階　第1会議室	
5月16日	10:00～	令和7年度第1回　参加支援委員会	ひと・まち交流館京都2F　第1・2会議室	
5月17日	10:30～13:30	ピアサポーター広報会議	光彩の会　多目的室	
5月17日	13:30～14:30	ぴあトーク	光彩の会多目的室	
5月21日	10:31～10:31	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　多目的室	
5月21日	10:30～12:08	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　多目的室	
5月23日	16:30～20:30	司法基準福祉懇談会	京都弁護士会館	
5月23日	13:30～15:30	いわくら病院ピアサロン（オリーブ病棟）	いわくら病院オリーブ病棟デイルーム	
5月26日	14:06～15:20	大阪精神病院人権センターでの講演打合わせ	光彩の会多目的室	
5月28日	14:30～15:00	令和7年度　下京こころのネットワーク　　第2回実務者会議	下京区役所	
5月28日	15:00～15:50	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院中会議室	
5月28日	18:00～20:00	花園大学人権教育研究室　第126回例会（社会福祉学部社会福祉学科　草川紗耶香　卒業論文）	花園大学　通用館102教室	
5月29日	15:00～16:50	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院中会議室	
6月2日	14:00～15:30	下京ネットワーク推進会議	下京区役所　1階	
6月4日	10:30～	虐待ケース会議（上京）	zoomオンライン	
6月4日	14:30～	京都市中部障害者地域自立支援協議会事務局会議（2025年度第3回）	zoomオンライン	
6月5日	18:00～19:30	コッケンロールの会	ZOOM（光彩の会多目的室）	
6月6日	13:15～	グッドライフプロジェクト（第二北山病院OT）	第二北山病院3F室	
6月10日	13:05～13:05	京都新聞取材（地域移行支援について）	面談室2	
6月13日	15:00～	グッドライフプロジェクト（第二北山病院OT）	イオンモール北大路	
6月14日	15:30～	令和7年度　第1回京のかれん家族会　定例会	多目的室	
6月15日	13:30～16:30	２０２５年度　京都精神保健福祉施設協議会総会・記念講演会	京都社会福祉会館　会議室１～３	
6月16日	14:00～	虐待ケース会議（中京）	中京区役所2F会議室	
6月18日	10:30～11:30	事業ミーティング（増進センター）	京都光彩の会多目的室	
6月18日	10:30～12:00	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　4F　多目的室	
6月19日	13:30～	虐待ケース会議（下京）	下京区役所2F　会議室A	
6月19日	10:00～	京都市中部障害者地域自立支援協議会　運営会議	下京区役所2F多目的ホール	
6月20日	10:00～	令和7年度地域福祉権利擁護事業にかかる実地調査（向日市社協）	向日市社協	
6月21日	10:00～10:15	ピア広報会議	光彩の会　多目的室	
6月21日	13:30～14:30	ぴあトーク（なごやかサロン勉強会）	光彩の会多目的室	
6月23日	14:00～	令和7年度　下京こころのネットワーク実務者会議	下京区役所　2階　多目的室	
6月24日	15:30～17:10	地域課題研究会担当者会議（2025年度第2回）	光彩の会多目的室（COCO　てらす東館4F）	
6月25日	13:00～14:50	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	COCO　てらす北　活動支援室(2)	
6月25日	15:00～16:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院作業療法室	
6月25日	09:30～11:30	第1回　地域移行促進事業実情等会議		
6月26日	15:30～17:10	中部支援センター支え合いの会	支援センターにしにん	
6月27日	13:30～14:30	令和7年度京都市準専有ピアサポート研修（基礎研修課目）	京都COCO・てらす　多目的室	
6月30日	13:00～14:00	北総合支援学校分校との事業所プロフィールシート作成、事業所フェアに関する打ち合せ	京都光彩の会　静養室・面接室	
7月2日	10:30～11:45	京都市中部障害者地域自立協議会　事務局会議（2025年度　第4回）	Zoomオンライン	
7月3日	11:30～17:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会　全体会議（総会・講演会）	ハートピア京都3階　大会議室	
7月4日	15:30～	第二北山病院OTグッドライフプロジェクト	第二北山病院3F室	
7月7日	16:00～	令和7年度第1回障害者地域生活支援センター連絡会議	京都市役所分庁舎4階　第3会議室	
7月8日	10:30～	西部障害者地域自立支援協議会　医療的ケア部会	西京区役所　新庄寄り強　会議室	
7月8日	13:30～14:30	西部医療的ケア　第1回定例会	西京区役所新庁舎8階	
7月9日	08:05～08:43	入院者訪問支援事業打ち合わせ		
7月9日	13:00～	令和7年度第1回運営委員会、運営協議会懇体	ハートピア京都3階　視聴覚室	
7月11日	15:00～17:00	第二北山病院OTグッドライフプロジェクト	第二北山病院3F室	
7月14日	12:40～	ピアサポート養成講座打合せ	光彩の会多目的室－ZOOM	
7月10日	10:30～11:20	事業ミーティング（増進センター）	京都光彩の会　多目的室	
7月10日	11:20～12:00	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　4F　多目的室	
7月17日	13:30～	下京ネットワーク　講演会の打ち合わせ	下京区役所　1階	
7月17日	10:00～	京都市中部障害者地域自立支援協議会　運営会議	下京区役所2F多目的ホール	
7月18日	13:30～	2025年度　04専門部会　第1回懇談会	下京区役所2階　多目的室	
7月19日	10:30～12:45	ピア広報会議	光彩の会多目的室	

資料③-2

7月19日	13:30～ 17:30	びあトーク	光彩の会多目的室	[redacted]
7月23日	13:30～ 16:10	精神科病院からの退院を支援するピアサポーター講座【1日目】	光彩の会　多目的室	
7月24日	14:30～ 15:30	2025年度　第1回中京区権利擁護支援ネットワーク会議	中京消防署　4階講堂	
7月24日	10:30～ 16:30	京都府高次脳機能障害支援者養成研修（基礎研修）	京都府医師会館	
7月25日	13:30～ 14:30	令和7年度京都市障害者ピアサポート研修（基礎研修課目）	京都COCO・てらす　多目的室	
7月25日	10:30～ 12:15	京都府高次脳機能障害支援者養成研修（基礎研修）	京都府医師会館	
7月28日	14:30～ 15:30	令和7年度　下京こころのふれあいネットワーク　第4回実務者会議	下京区役所　多目的室	
7月28日	14:30～ 15:30	第44回京都市障害者自立支援協議会（令和7年度第1回）	京都経済センター 3F　3-H	
7月30日	13:30～ 16:35	退院を支援するピアサポーター養成講座	京都光彩の会多目的室	
7月30日	15:00～ 17:00	2025年度「佛教大学社会福祉実習連絡研修会」－精神保健福祉士分野	佛教大学紫野　キャンパス1号館　1階第3会議室（zoomオンラインとのハイブリット開催）	
7月31日	14:00～ 15:50	令和7年度　第1回高齢サポート・西ノ京圏域ケア会議	京都アスニー　3階　第3研修室	
8月1日	12:30～ 14:30	第二北山病院OTグッドライフプロジェクト	第二北山病院OT室	
8月2日	14:00～ 15:35	ロッケンロールの会（日弁連当事者懇談会）	ZOOM（光彩の会多目的室）	
8月7日	15:30～ 17:15	京都市中部障害者地域自立協議会　事務局会議（2025年度第5回）	Zoomオンライン	
8月13日	11:20～ 12:10	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会4F　多目的室	
8月13日	10:30～ 12:15	事業運営部（こころの健康増進センター）	光彩の会多目的室	
8月19日	13:00～ 16:30	施設説明会	京都府立視力障害者福祉センター　（第1準備訓練室）	
8月21日	13:00～ 20:10	相談支援専門員カフェ（京都市中部障害者地域自立支援協議会）	上京区役所	
8月21日	13:30～ 14:40	京都市中部障害者地域自立支援協議会　運営会議	下京保健福祉センター障害保健福祉課	
8月22日	10:30～ 12:00	入院者訪問支援事業 京都府との打ち合わせ	京都光彩の会 4F　多目的室	
8月22日	14:00～ 15:00	中京区社協の事業である"ゆっくりどうぞ会"についての話し合い	光彩の会　静養室・当談室	
8月22日	13:30～ 14:30	令和7年度京都市障害者ピアサポート研修（基礎研修科目）	京都COCO・てらす　多目的室	
8月23日	15:30～ 17:35	ピアサポーター勉強会	光彩の会多目的室	
8月23日	11:30～ 12:18	合同ピアサポーター勉強会について	光彩の会　多目的室	
8月23日	10:00～ 11:30	ピア広報会議	光彩の会　多目的室	
8月23日	13:30～ 14:30	ピタトーク（人付き合いについて）	光彩の会　多目的室	
8月26日	15:30～ 17:10	地域課題研究会担当者会議（2025年度第3回）	光彩の会多目的室（COCO　てらす東館4F）	
8月27日	09:30～ 11:30	地域移行促進事業実務者会議		
9月2日	14:30～ 15:30	中京区社協・障害者支援事業所連携強化ミーティング	中京区社協2F会議室	
9月4日	10:30～ 12:30	就労支援センターそらいろ勉強会	就労支援センターそらいろ	
9月4日	13:30～ 15:45	京都市中部障害者地域自立協議会　事務局会議（2025年度第6回）	支援センターにしじん新事務所	
9月6日	08:45～ 16:30	みんなねっと京都大会	京都テルサ	
9月7日	16:30～ 18:30	「ゆっくりどうぞ会」	中京区社協2F	
9月9日	13:30～ 16:30	令和7年度第3回　中京区こころ・愛・ふれあいネットワーク実務者会議（第2回）	中京区役所　4階会議室	
9月10日	10:30～ 12:30	虐待ケース会議（中京）	中京区役所2F	
9月12日	09:30～ 11:30	就労支援事業所カフェ	ハートピア京都	
9月12日	15:05～ 17:05	第二北山病院OTグッドライフプロジェクト	第二北山病院OT室	
9月13日	10:30～ 12:45	ピアサポート広報会議	光彩の会多目的室	
9月17日	14:30～ 15:30	京都市中部障害者地域自立支援協議会　グループホーム専門部会　担当者会議	オンライン	
9月18日	13:30～ 17:30	令和7年度2回　支えあいの会	支援センターらくなん	
9月18日	15:30～ 17:30	虐待ケース会議（下京）	下京区役所2F多目的室	
9月18日	15:30～ 17:30	京都市中部障害者地域自立支援協議会運営会議（2025年度9月）	下京区役所4F第1会議室	
9月19日	13:30～ 15:45	中部協議会　災害支援部会研修会	下京区役所4F会議室）	
9月20日	18:30～ 20:30	司法医療福祉懇談会	京都弁護士会館	
9月22日	14:30～ 15:30	令和7年度　下京こころのネットワーク　第5回実務者会議	下京区役所　2階　多目的室	
9月26日	13:30～ 17:30	白光荘地域連携ネットワーク	白光荘	
9月29日	10:30～ 12:30	入院者訪問支援事業の説明（いわくら病院）	いわくら病院　大会議室	
10月2日	14:30～ 15:30	京都市中部障害者地域自立協議会　事務局会議（2025年度第7回）	zoomオンライン	
10月2日	17:58～ 17:58	ロッケンロールの会（全国ピア交流会：日弁連）	ZOOM	
10月5日	13:30～ 14:45	京都市中部医療的ケア児等地域支援コーディネート事業	京都アスニー　第3　研修室	
10月6日	13:30～ 16:30	学区社協交流研修会・介護予防研修会　高齢者の居場所情報交換会	中京区社協（元招案小学校南校舎1階第2会議室）	
10月7日	15:30～ 16:10	上京区役所における授業製品販売（出店）についての検討会議	上京区役所4F　中会議室	
10月8日	15:30～ 15:35	入院者訪問支援事業の説明（第二北山病院）	第二北山病院　会議室	
10月10日	13:30～ 15:53	いわくら病院6病棟びあサロン	いわくら病院6病棟	
10月10日	10:30～ 16:45	令和7年度　第2回相談支援専門員等スキルアップ研修	京都テルサ　東館3階　大会議室	
10月11日	10:30～ 11:50	ピア広報会議	光彩の会多目的室	
10月11日	13:30～ 14:45	びあトーク	光彩の会多目的室	
10月16日	13:30～ 13:54	アド・アソシエイツとの打ち合わせ	光彩の会4F　多目的室	
10月16日	14:30～ 15:30	京都市中部障害者地域自立支援協議会　グループホーム専門部会　担当者会議	オンライン	
10月16日	15:03～ 16:10	事業ミーティング（こころの健康増進センター）	光彩の会多目的室	
10月16日	15:30～ 17:30	京都市中部障害者地域自立支援協議会　運営会議（2025年度第7回）	下京区役所4F　第一会議室	
10月16日	16:00～ 20:00	相談支援専門員カフェ	上京区役所	
10月16日	16:00～ 16:30	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　4F　多目的室	
10月17日	15:30～ 15:50	出前講座（いわくら病院オリーブ病棟）	いわくら病院オリーブ病棟	
10月22日	15:00～ 16:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院本館中会議室	
10月22日	09:30～ 11:40	京都市精神障害者地域移行促進事業実務者会議	光彩の会多目的室－ZOOM	
10月22日	14:30～ 15:45	2025年度　第2階権利擁護ネットワーク会議	中京区役所　4階　第1・2会議室	
10月23日	13:05～ 13:05	講師打ち合わせ	光彩の会	
10月24日	14:30～ 15:45	京都市居宅介護等事業連絡協議会　10月定例会	ひと・まち交流館　第4会議室	
10月24日	13:30～ 14:30	令和7年度京都市障害者ピアサポート研修（基礎研修課目）	京都COCO　てらす　多目的室	

資料③-3

10月25日	14:00～	2025年度　第2回　京都精神医療福祉施設協議会　拡大役員会議	京都社会福祉会館　会議室3
10月27日	14:30～	令和7年度　下京こころのネットワーク　第5回実務者会議	下京区役所　7階　多目的室
10月29日	14:40～	京都文教大学でのピアサポーター講演	京都文教大学14号館２０１
10月30日	10:35	虐待ケース会議（新規4件）	京都健康福祉センター　障害保健福祉課
10月31日	10:30～ 10:35	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	光彩の会　多目的室
11月4日	14:00～	虐待ケース会議・虐待支援会議（新規2件、終結検討3件）	上京区役所1F　会議室
11月4日	12:30～ 13:30	入院者訪問支援事業の説明（北山病院）	北山病院　会議室
11月6日	14:00～	第44回京都市障害者自立支援協議会（令和7年度第2回）	ＣＯＣＯ　てらす西陣　研修室
11月6日	15:30～	京都市中部障害者地域自立支援協議会　事務局会議（2025年度第3回）	zoomオンライン
11月8日	10:00～ 12:00	ごりき工房勉強会	ごりき工房
11月9日	14:00～	シンポジウム　「医療的ケア児×在宅移行期」	京都市国際交流会館　【視聴会議室】
11月11日	10:00～	令和７年度　こころ・愛・ふれあいネットワーク実務者会議（第４回）	中京区役所4階　大会議室
11月13日	13:30～	2025年度　グループホーム専門部会　第2回相談会	下京区役所4階　第3会議室
11月14日	15:30～	令和7年度　中京区こころ・愛・ふれあいネットワーク実務者会議（第4回）	中京区役所4階　大会議室
11月15日	10:30～ 12:00	ロッケンロールの会（日弁連当事者懇談）京都大会打合せ	光彩の会多目的室
11月15日	13:30～ 14:30	ぴあトーク	光彩の会多目的室
11月19日	10:30～ 11:15	事業運営MT（こころの健康増進センター）	光彩の会多目的室
11月19日	11:15～ 12:10	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　4F　多目的室
11月20日	13:00～ 14:00	入院者訪問支援事業の説明（京都博愛会病院）	京都博愛会病院　会議室
11月20日	10:30～ 12:15	京都市中部障害者地域自立支援協議会　運営会議	下京区役所2F　多目的室
11月21日	13:30～ 14:30	中部協議会地域課題研究会　気づきの事例検討会　事前打ち合せ	障害センター3F　若木会（施設入所支援、生活介護）
11月21日	10:30～ 15:45	いわくら病院オリーブ病棟ぴあサロン	いわくら病院オリーブ病棟
11月25日	10:00～	ノートルダム女子大学　矢島氏からのインタビュー　調査協力依頼（打ち合せ）	光彩の会　西談室2
11月25日	13:30～ 16:15	第23回京都市障害者地域自立支援協議会「権利擁護部会」（令和7年度第1回）	京都市役所分庁舎第3会議室
11月26日	15:00～ 16:15	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院
11月26日	09:30～ 11:30	地域移行促進事業実務者会議	
11月27日	15:30～	虐待ケース会議（中京）	中京区役所
11月28日	16:00～	令和7年度　第2回　障害者地域生活支援センター連絡会議	京都市役所分庁舎4階　第3会議室
11月28日	10:30～ 12:00	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	京都光彩の会　4F　多目的室
11月29日	14:30～ 15:30	コッケンコールの会（日弁連当事者懇談会）	ZOOM（光彩の会多目的室）
11月29日	12:30～ 13:30	ピア広報会議	光彩の会多目的室
12月1日	10:30～ 12:00	入院者訪問支援事業　シンポジスト打ち合わせ	京都光彩の会　4F　多目的室
12月1日	18:30～	令和7年度第2回　運営監視会議体	こどもみらい館　4階　第2研修室
12月3日	15:30～	第二北山病院OT	第二北山病院
12月5日	16:30～	下京区社会福祉大会の開催について	しんらん交流館　7階　大谷ホール
12月5日	19:00～	就労支援事業所カフェ	ハートピア京都4階　第3会議室
12月5日	10:00～	下京地域福祉活動EXPO　見て・聞いて・体験する	しんらん交流会館　2階大谷ホール
12月8日	17:30～ 18:45	入院者訪問支援事業　シンポジスト打ち合わせ	京都光彩の会　4F　多目的室
12月8日	19:00～	中部協議会地域課題研究会　気づきの事例検討会　事前打ち合せ	ウェルビーチャンシン烏丸御池センター
12月8日	11:00～ 11:40	入院者訪問支援事業の説明（ならびがおか病院）	ならびがおか病院　会議室
12月11日	10:30～ 13:05	講師打ち合わせ	光彩の会
12月12日	13:00～ 15:10	グッドライフプロジェクト（第二北山病院OT）	第二北山病院7病棟　訓練室
12月12日	10:00～ 10:30	ピア基礎研修事業　ピアサポート専門研修運営会議 ピア基礎研修事業　ピアサポート専門研修運営会議	ZOOM（COCO　てらす　多目的室）
12月12日	10:00～ 10:30	ピア基礎研修事業　ピアサポート専門研修運営会議 ピア基礎研修事業　ピアサポート専門研修運営会議	ZOOM（COCO　てらす　多目的室）
12月13日	13:00～	ロッケンロールの会京都大会打合せ	光彩の会多目的室とZOOM
12月15日	15:30～ 16:20	入院者訪問支援事業の説明（東山ナティリウム病院）	東山ナティリウム病院　会議室
12月17日	15:30～ 17:00	中部支援センター支えあいの会	光彩の会多目的室
12月17日	10:30～ 12:05	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会多目的室
12月17日	11:15～ 12:10	事業ミーティング（増進センター）	光彩の会　4F　多目的室
12月18日	19:00～	相談支援専門員カフェ	上京区役所4F
12月19日	00:00～	京都市中部障害者地域自立支援協議会 2025年度12月運営会議	京都市下京区役所4階　第3会議室
12月20日	15:30～ 17:30	第3回ピアサポーター勉強会	5階多目的室
12月20日	10:20～ 12:25	ピアサポーター広報会議	光彩の会多目的室（ZOOM）
12月20日	13:30～ 14:30	ぴあトーク	光彩の会多目的室
12月22日	11:00～ 12:00	推進室より支援センター事業に関するヒアリング	zoomオンライン
12月24日	09:30～	地域移行促進事業実務者会議	
1月9日	13:30～	下京こころのふれあいネットワーク	下京区役所　4階会議室
1月9日	10:00～	京都市中部障害者地域自立支援協議会　事務局会議	zoomオンライン
1月9日	14:00～	下京ネットワーク運営会	下京区役所4階
1月13日	10:00～	いわくら病院6病棟ピアトークの打合せ	
1月13日	13:30～ 14:30	入院者訪問支援事業　全体講師打ち合わせ	光彩の会　多目的室
1月13日	19:00～	京都市中部障害者地域自立支援協議会　地域課題研究会	ウェルビーチャンシン烏丸御池センター
1月14日	13:30～	山科区社会福祉協議会　実地調査（運営監視）	山科区社協
1月15日	15:30～	京都市中部障害者地域自立支援協議会 2025年度1月運営会議	下京区役所2F多目的ホール
1月16日	14:30～ 15:25	いわくら病院6病棟ぴあサロン	いわくら病院
1月17日	13:30～ 20:45	司法矢療福祉懇談会	京都弁護士会館
1月19日	13:30～ 17:30	令和7年度　都道府県等入院者訪問支援事業担当者会議	ZOOM・てらす　4F　活動支援室2（ZOOM）
1月19日	10:30～ 12:20	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	光彩の会　4F　多目的室
1月20日	13:30～ 14:10	入院者訪問支援事業の説明（京都大学医学部附属病院）	京都大学医学部附属病院　会議室
1月21日	10:34～ 11:25	増進センターとのMT（促進事業）	光彩の会多目的室
1月21日	13:00～	第二北山病院OT（Four　Step	第二北山病院　別棟会議室

資料③-4

1月21日	11.15～12.10	事業ミーティング(増進センター)	光彩の会　4F　多目的室
1月22日	14:00～16:00	2025年度　第3回復利擁護支援ネットワーク会議	中京区役所　4階　第1・2会議室
1月23日	18:00～19:30	ロックンロールの会（日弁連当事者懇談会）	ZOOM（光彩の会多目的室）
1月23日	13:00～15:30	グッドライフプロジェクト　ピアサロン	第二北山病院7病棟2階会
1月24日	13:00～15:30	2025年度　花園大学ソーシャルワーク実習発表会・懇談会	花園大学　高橋館4階　404教室
1月25日	15:00～16:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院　会議室
1月26日	14:30～15:30	令和7年度　下京こころのふれあいネットワーク　第6回実務者会議	下京区役所　2階多目的室
1月28日	15:30～17:00	いわくら病院　地域移行会議	いわくら病院　本館中会議室
1月28日	14:00～14:40	入院者訪問支援事業の説明（醍醐病院）	醍醐病院　会議室
1月28日	09:30～10:30	地域康促進事業実務者会議	
1月29日	10:30～10:40	上京区役所における授産製品販売（出店）の振り返り会議	上京区役所1F　小会議室4,5
1月31日	10:30～12:30	ピア広報会議	京都光彩の会多目的室
2月3日	10:35～11:45	虐待ケース会議（上京区役所）	上京区役所1F会議室
2月5日	10:30～10:27	京都府入院者訪問支援事業の振り返り	光彩の会　4F　面接室
2月9日	10:30～11:10	こころの健康増進センターとのミーティング	こころの健康増進センター相談室15
2月9日	11:10～12:00	事業ミーティング(増進センター)	光彩の会　4F　多目的室
2月9日	14:00～16:00	2025年度第4回京都精神保健福祉施設協議会拡大役員会	京都朱雀工房　多目的室
2月12日	14:00～16:00	中部支援センター支えあいの会	光彩の会　多目的室
2月13日	13:00～15:35	第二北山病院グッドライフプロジェクト	第二北山病院6病棟
2月14日	15:00～16:30	ピア活動（ロックンロールの会）	多目的室，ZOOM
2月17日	13:30～14:20	ピアサポート専門研修運営打合せ	オンライン（光彩の会室接続）
2月17日	14:00～14:40	入院者訪問支援事業の説明（京都府立医科大学附属病院）	京都府立医科大学附属病院　会議室
2月19日	10:30～12:10	京都市中部障害者地域自立支援協議会 2025年度2月運営会議	京都市下京区役所2階　多目的ホール
2月20日	14:50～13:20	入院者訪問支援事業の説明（嵯峨さくら病院）	嵯峨さくら病院　ロビー
2月20日	13:30～15:40	いわくら病院ピアサロン	
2月20日	09:30～10:34	令和7年度訪問支援員養成研修　振り返り	光彩の会4F　多目的室
2月20日	10:30～12:10	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	光彩の会　4F　多目的室
2月21日	13:30～14:50	ピア広報会議	光彩の会多目的室
2月21日	17:43～17:43	ロックンロールの会京都大会打合せ	
2月21日	13:30～14:40	ピアトーク	光彩の会多目的室
2月23日	10:30～11:00	ゆっくりとうぞ会（中京区社協）	中京区社協2F
2月24日	16:00～17:00	地域課題研究会担当者会議（2025年度第7回）	光彩の会多目的室（COCO・てらす西館4F）
2月25日	15:00～16:00	いわくら病院地域移行会議	いわくら病院　中会議室
2月25日	13:30～15:30	2025年度グループホーム専門部会　担当者会議	オンライン
2月26日	09:30～11:30	京都市精神障害者地域移行促進事業　事業内容検討会議	COCO・てらす　西館研修室2・3
2月27日	13:00～15:30	鳴滝総合支援学校　支援センター見学・説明対応	光彩の会　多目的室
3月2日	13:30～15:00	下京こころのふれあいネットワーク	ホテル　エミオン　京都　2階
3月5日	13:00～15:00	第23回京都市障害者地域自立支援協議会「権利擁護部会」（令和7年度第1回）	京都市役所分庁舎第2会議室
3月7日	13:00～15:00	ロックンロールの会京都大会	
3月9日	13:30～15:30	令和7年度第3回障害者地域生活支援センター連絡会議	京都市役所分庁舎第4会議室
3月10日	13:30～15:30	京都市中部障害者地域自立協議会　事務局会議	zoomオンライン
3月11日	13:00～15:00	中部支援センター支えあいの会	光彩の会多目的室
3月13日	13:00～15:00	就労支援事業所専門部会「就労支援事業所カフェ」	ハートピア京都
3月13日	10:00～14:30	令和7年度第2回運営適正化委員会、令和7年度第3回運営監視合議体	ハートピア京都3F視聴覚室
3月16日	14:30～15:30	虐待ケース会議（中京）	中京保健福祉センター障害保健福祉課
3月16日	15:00～16:00	令和7年度第2回　参加支援委員会	ひと・まち交流館京都3階
3月17日	09:30～10:30	入院者訪問支援事業の説明（西山病院）	西山病院　会議室
3月18日	10:02～10:02	こころの健康増進センターとのミーティング	
3月18日	10:02～10:02	訪問支援事業に関する打合せ	Zoom（光彩の会多目的室
3月19日	10:30～12:20	入院者訪問支援事業　京都府との打ち合わせ	光彩の会　4F　多目的室
3月20日	10:30～13:00	京都市中部障害者地域自立支援協議会 2025年度3月運営会議	下京区役所2F　多目的ホール
3月21日	14:00～15:00	ピアトーク	光彩の会多目的室
3月23日	13:00～14:30	第46回京都市障害者自立支援協議会	COCO・てらす 西館4階研修室
3月24日	13:00～14:30	入院者訪問支援事業の説明（長岡ヘルスケアセンター）	長岡ヘルスケアセンター
3月24日	14:50～15:50	個人情報取扱事務委託先現地調査	支援センターなごやか事務所
3月25日	10:30～13:00	虐待ケース会議（南区）	南保健福祉センター　アイルーム
3月25日	13:30～15:30	地域移行促進事業実務者会議	
3月26日	13:30～15:30	2025年度グループホーム専門部会　担当者会議（第9回）	オンライン
3月26日	14:00～16:00	京都府・京都市入院者訪問支援事業　オリエンテーション	COCO・てらす　西館4F　研修室1
3月27日	13:00～15:30	グッドライフプロジェクト	第二北山病院6病棟
3月27日	10:30～12:00	虐待ケース会議（上京）	zoomオンライン

センター主催（共催）研修

日程	時間	研修名	研修先
9月25日	09:00～17:00	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修（1日目）	京都テルサ　東館3階大会議室
10月3日	09:00～17:00	令和7年度京都市障害者ピアサポート基礎研修（1日目）	京都テルサ　東館3階大会議室
12月16日	12:30～17:00	令和7年度京都市精神障害者地域移行促進事業　研修	京都テルサ東館2F　セミナー室
12月22日	12:30～16:30	入院者訪問支援事業　集合視聴	光彩の会　4F　多目的室
2月16日	10:00～17:30	令和7年度　京都府・京都市　入院者訪問支援員養成研修	COCO・てらす西館4F　研修室1

資料③-5

3月4日	09:00～18:00	京都府障害者ピアサポート専門研修	京都経済センター6F
3月4日	09:00～18:00	京都府障害者ピアサポート専門研修	京都経済センター6F
3月9日	09:00～17:30	京都府障害者ピアサポート専門研修（2日目）	京都経済センター6F
3月9日	09:00～17:30	京都府障害者ピアサポート専門研修（2日目）	京都経済センター6F

講師派遣

日程	時間	研修名	場所
5月19日	[illegible]	京都府相談支援従事者初任者研修（オンデマンド録画）	ハートピア京都　地下1階総合相談室
5月31日	13:30～17:00	大阪精神医療人権センター総会・記念講演会	ナル大阪（天満橋）
9月8日	13:00～15:00	京都市南部障害者地域自立支援協議会　緊急時宿泊支援体制を考える専門部会 実践報告	伏見区役所　2階講堂
11月21日	15:55～	京都市市民後見人養成講座	ひと・まち交流館京都　2階
1月13日	[illegible]	花園大学	花園大学

派遣研修・他都市視察

日程	時間	研修名	場所
5月23日	15:00～17:00	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」	白光荘
6月2日	14:00～	京都市居宅介護等事業連絡協議会2025年度総会	京都テルサ東館3階
6月13日	14:30～	※途中　令和7年度　気持ちに寄り添う　福祉職場のマナー研修	オンライン動画視聴
6月20日	[illegible]	相談支援専門員カノエ	上京区寺台庁舎4階
6月27日	15:00～17:00	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」（第2回）	白光荘
7月25日	15:00～17:00	白光荘地域連携ネットワーク「新しい人生を築くためのヒントを学ぶ」（第3回）	白光荘
7月25日	10:00～12:40	令和7年度基幹支援センター研修事業　第1回相談支援専門員等スキルアップ研修	京都テルサ　東館3階　大会議室
8月7日	[illegible]	そらいろ勉強会	就労支援センターそらいろ
8月18日	13:00～16:40	令和7年度障害者虐待対応に関する業務研修	右京区役所
8月19日	[illegible]	ビギナー向け　生産性向上セミナー（zoomオンライン）	zoomオンライン
8月25日	10:20～16:30	会話力・要約力セミナー～あなたのその思い、伝わっていますか～	ハートピア京都
8月27日	[illegible]	R7年度 京都府強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	京都テルサ 西館 1F
9月15日	13:30～16:30	トラウマ理解からつながる地域社会　生きづらさとトラウマ	ひと・まち交流館京都第4会議室（3F）
9月19日	10:30～12:00	入院者訪問支援事業 京都府との打ち合わせ	京都光彩の会　多目的室
9月22日	[illegible]	支援センター合同研修	伏見区役所醍醐支所
9月29日	13:30～15:30	京都市地域リハビリテーション推進研修	zoomオンライン
10月2日	[illegible]	そらいろ勉強会	就労支援センターそらいろ
10月13日	13:00～15:35	こころのまなび舎noonclassNo.2	京都大学医学部付属病院第一臨床講堂（会場＆オンラインでのハイブリッド研修）
10月17日	[illegible]	ビギナー向け　生産性向上セミナー（zoomオンライン）	zoomオンライン
10月24日	[illegible]	居宅介護連絡協議会	
10月30日	[illegible]	医療的ケア児等コーディネーター	京都テルサ　東館3F
11月4日	[illegible]	虐待防止・権利擁護研修オンライン（ZOOM）研修	
11月8日	13:30～17:00	鴻巣府旦香さんトークイベント	西京産業創造會館（〒602-8061 京都府京都市上京区甲斐守町９７）
11月10日	09:30～11:45	令和7年度第6回高齢者虐待防止のための研修	ひと・まち交流館京都3階　第4・5会議室
11月11日	13:00～16:45	第40回　国際障害者年連続シンポジウム「地域と施設のこれから～障害者の暮らしと支援をめぐって～」	ハイブリッド（京都市地域・多文化交流ネットワークセンターorZOOM）
11月12日	13:30～17:00	令和7年度高次脳機能障害支援養成研修（実践）演習（2日目）	京都府医師会館3階　会議室３１０
11月13日	10:30～15:30	令和7年度高次脳機能障害支援養成研修（実践）演習（2日目）	京都府医師会館3階　会議室３１０
11月29日	18:15～20:45	こころの健康づくり大会京都2025	ハートピア京都
12月2日	[illegible]	令和7年度京都府強度行動障害支援者養成研修（実践研修）2日目	京都テルサ西館1Fテルサホール
12月3日	[illegible]	令和7年度京都府強度行動障害支援者養成研修（実践研修）3日目	京都テルサ西館1Fテルサホール
12月4日	[illegible]	令和7年度基幹支援センター研修事業（実施：支援センターうきょう）	京都テルサ東館3階　大会議室
12月9日	[illegible]	気分（感情）障害の理解と支援	CODO・てらす姫　研修室1
12月9日	[illegible]	ビギナー向け　生産性向上セミナー（zoomオンライン）	zoomオンライン
1月15日	10:00～12:00	Kintoneセミナー	ソコージャパン京都支社
1月26日	18:12～18:12	京都府入院者訪問支援員養成研修	ハートピア京都　4階　第5会議室
1月27日	14:15～16:15	下京区役所　事例検討会	下京区役所　2F　多目的ホール
2月19日	[illegible]	誰でもスマホ新プロー説明会	ZOOM（なごやか事務所）
2月25日	10:00～	携帯電話不正利用防止法改正に伴う「誰でもスマホ」お申込み方法変更のご案内	ZOOM
3月12日	13:30～14:40	全国地域生活定着支援センター協議会近畿ブロック研修～被疑者等支援業務のこれまでとこれから～	オンライン（現地：新大阪丸ビル別館）
3月16日	[illegible]	よくわかる高次脳機能障害セミナー	オンライン

決　算　報　告　書

令和7年度

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

京都市指定管理事業所

京都市中部障害者地域生活支援センター

「なごやか」

社会福祉法人　京都光彩の会

（社会福祉法人　新会計基準に拠る会計処理）

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	地域生活支援センター「なごやかサ
サービス区分	なごやかサロン

支援センター資金収支計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）　　（単位：円）

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	56,100,000	58,990,733	△2,890,733	
		自立支援給付費収入	11,900,000	13,827,517	△1,927,517	
		地域相談支援給付費収入	900,000	1,018,992	△118,992	
		計画相談支援給付費収入	11,000,000	12,808,525	△1,808,525	
		その他の事業収入	44,200,000	45,163,216	△963,216	
		補助金事業収入	500,000	542,000	△42,000	
		その他の補助金事業収益	500,000	542,000	△42,000	
		受託事業収入	43,500,000	44,303,955	△803,955	
		京都市受託事業収益	43,500,000	44,303,955	△803,955	
		その他の事業収入	200,000	317,261	△117,261	
		その他の収入	150,000	57,820	92,180	
		受入研修費収入	150,000	54,320	95,680	
		雑収入		3,500	△3,500	
		事業活動収入計(1)	56,250,000	59,048,553	△2,798,553	
	支出	人件費支出	45,100,000	45,667,078	△567,078	
		職員給料支出	18,300,000	18,530,005	△230,005	
		職員賞与支出	4,600,000	4,704,150	△104,150	
		職員諸手当支出	7,000,000	6,992,657	7,343	
		非常勤職員給与支出	8,700,000	8,587,576	112,424	
		退職給付支出	700,000	1,026,658	△326,658	
		法定福利費支出	5,800,000	5,826,032	△26,032	
		事業費支出	2,110,000	2,237,140	△127,140	
		保健衛生費支出		6,050	△6,050	
		教養娯楽費支出	50,000	67,002	△17,002	
		日用品費支出	60,000	52,705	7,295	
		水道光熱費支出	500,000	410,553	89,447	
		消耗器具備品費支出	1,000,000	1,135,033	△135,033	
		教育指導費支出	250,000	239,500	10,500	
		車輌関係費支出	250,000	326,297	△76,297	
		事務費支出	8,500,000	8,971,459	△471,459	
		福利厚生費支出	300,000	317,838	△17,838	
		旅費交通費支出	400,000	366,795	33,205	
		研修研究費支出	800,000	1,174,935	△374,935	
		事務消耗品費支出	400,000	446,258	△46,258	
		印刷製本費支出	750,000	723,058	26,942	
		修繕費支出		6,946	△6,946	
		通信運搬費支出	1,100,000	1,305,149	△205,149	
		会議費支出		9,523	△9,523	

支援センター資金収支計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）

（単位:円）

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
		広報費支出		49,011	△49,011	
		業務委託費支出	1,100,000	1,091,223	8,777	
		手数料支出	180,000	62,465	117,535	
		保険料支出	180,000	284,131	△104,131	
		賃借料支出	1,200,000	1,182,293	17,707	
		租税公課支出	1,800,000	1,634,900	165,100	
		支払顧問料	120,000	135,454	△15,454	
		諸会費支出	150,000	181,480	△31,480	
		雑支出	20,000		20,000	
		事業活動支出計(2)	55,710,000	56,875,677	△1,165,677	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	540,000	2,172,876	△1,632,876	
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出					
		施設整備等支出計(5)				
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入					
		その他の活動収入計(7)				
	支出					
		その他の活動支出計(8)				
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
		予備費支出(10)	540,000		540,000	
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		2,172,876	△2,172,876	

前期末支払資金残高(12)		28,260,247	△28,260,247	
当期末支払資金残高(11)+(12)		30,433,123	△30,433,123	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	地域生活支援センター「なごやかサ
サービス区分	なごやかサロン

支援センター事業活動計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）　　（単位:円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比率	備考
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	58,990,733	52,305,548	6,685,185	112.78%	
		自立支援給付費収益	13,827,517	10,695,967	3,131,550	129.28%	
		地域相談支援給付費収益	1,018,992	858,635	160,357	118.68%	
		計画相談支援給付費収益	12,808,525	9,837,332	2,971,193	130.20%	
		その他の事業収益	45,163,216	41,609,581	3,553,635	108.54%	
		補助金事業収益	542,000	51,564	490,436	1051.12%	
		その他の補助金事業収益	542,000	51,564	490,436	1051.12%	
		受託事業収益	44,303,955	41,414,226	2,889,729	106.98%	
		京都市委託事業収益	44,303,955	41,414,226	2,889,729	106.98%	
		その他の事業収益	317,261	143,791	173,470	220.64%	
		サービス活動収益計(1)	58,990,733	52,305,548	6,685,185	112.78%	
	費用	人件費	45,667,078	40,243,609	5,423,469	113.48%	
		職員給料	18,530,005	16,342,803	2,187,202	113.38%	
		職員賞与	3,704,150	2,640,584	1,063,566	140.28%	
		賞与引当金繰入	1,000,000	1,000,000		100.00%	
		職員諸手当	6,992,657	5,799,735	1,192,922	120.57%	
		非常勤職員給与	8,587,576	8,330,272	257,304	103.09%	
		退職給付費用	1,026,658	725,553	301,105	141.50%	
		法定福利費	5,826,032	5,404,662	421,370	107.80%	
		事業費	2,237,140	1,301,817	935,323	171.85%	
		保健衛生費	6,050		6,050		
		教養娯楽費	67,002	43,820	23,182	152.90%	
		日用品費	52,705	34,229	18,476	153.98%	
		水道光熱費	410,553	391,590	18,963	104.84%	
		消耗器具備品費	1,135,033	271,041	863,992	418.77%	
		教育指導費	239,500	287,100	△47,600	83.42%	
		車輌関係費	326,297	274,037	52,260	119.07%	
		事務費	8,971,459	10,649,456	△1,677,997	84.24%	
		福利厚生費	317,838	285,229	32,609	111.43%	
		旅費交通費	366,795	367,570	△775	99.79%	
		研修研究費	1,174,935	679,003	495,932	173.04%	
		事務消耗品費	446,258	324,271	121,987	137.62%	
		印刷製本費	723,058	728,606	△5,548	99.24%	
		修繕費	6,946	10,600	△3,654	65.53%	
		通信運搬費	1,305,149	1,174,512	130,637	111.12%	
		会議費	9,523	13,093	△3,570	72.73%	
		広報費	49,011		49,011		
		業務委託費	1,091,223	2,534,368	△1,443,145	43.06%	

支援センター事業活動計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）　　（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比率	備考
サービス活動外増減の部		手数料	62,465	267,142	△204,677	23.38%	
		保険料	284,131	302,629	△18,498	93.89%	
		賃借料	1,182,293	1,232,212	△49,919	95.95%	
		租税公課	1,634,900	2,568,900	△934,000	63.64%	
		支払顧問料	135,454		135,454		
		諸会費	181,480	150,152	31,328	120.86%	
		雑費		11,169	△11,169	0.00%	
		サービス活動費用計(2)	56,875,677	52,194,882	4,680,795	108.97%	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,115,056	110,666	2,004,390	1911.21%	
	収益	その他のサービス活動外収益	57,820	176,776	△118,956	32.71%	
		受入研修費収益	54,320	163,776	△109,456	33.17%	
		雑収益	3,500	13,000	△9,500	26.92%	
		サービス活動外収益計(4)	57,820	176,776	△118,956	32.71%	
	費用						
		サービス活動外費用計(5)					
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	57,820	176,776	△118,956	32.71%	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,172,876	287,442	1,885,434	755.94%	
特別増減の部	収益						
		特別収益計(8)					
	費用						
		特別費用計(9)					
		特別増減差額(10)=(8)-(9)					
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,172,876	287,442	1,885,434	755.94%	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	27,260,255	26,972,813	287,442	101.07%	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	29,433,131	27,260,255	2,172,876	107.97%	
		基本金取崩額(14)					
		その他の積立金取崩額(15)					
		その他の積立金取崩額					
		工賃変動積立金取崩額					
		長期預り金積立資産取崩額					
		その他の積立金積立額(16)					
		その他の積立金積立額					
		施設整備等積立額					
		工賃変動積立金積立額					
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)-(15)-(16)	29,433,131	27,260,255	2,172,876	107.97%	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	地域生活支援センター「なごやかサロン」
サービス区分	なごやかサロン

支援センター貸借対照表

（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	32,482,462	28,514,093	3,968,369	流動負債	3,049,339	1,253,846	1,795,493
現金預金	1,303,365	91,615	1,211,750	事業未払金	1,601,295	22,201	1,579,094
事業未収金	5,556,869	11,688,450	△6,131,581	預り金	448,044	231,645	216,399
1年以内回収予定長期貸付金	14,620,639		14,620,639	賞与引当金	1,000,000	1,000,000	
拠点区分間貸付金		7,225,997	△7,225,997				
サービス区分間貸付金	11,001,589	9,508,031	1,493,558				
固定資産	8	8		負債の部合計	3,049,339	1,253,846	1,795,493
その他の固定資産	8	8		純資産の部			
機械及び装置	1	1		次期繰越活動増減差額	29,433,131	27,260,255	2,172,876
器具及び備品	7	7		(うち当期活動増減差額)	2,172,876	287,442	1,885,434
				純資産の部合計	29,433,131	27,260,255	2,172,876
資産の部合計	32,482,470	28,514,101	3,968,369	負債及び純資産の部合計	32,482,470	28,514,101	3,968,369

委託金事業等収益明細書

自　令和　7年　4月　1日

至　令和　8年　3月　31日

社会福祉法人京都光彩の会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	交付金額等合計の事業所ごとの内訳	
			京都市朱雀工房	地域生活支援センター「なごやか」
支援センター運営事業委託料	障害事業	34,398,025		34,398,025
京都市地域移行支援事業運営委託料		3,874,560		3,874,560
京都市こころのふれあい交流サロン運営委託料(実績分)		1,549,300		1,549,300
京都市入院者訪問支援事業		2,408,000		2,408,000
ピアサポート基礎研修		2,074,070		2,074,070
区分小計		44,303,955	-	44,303,955
	施設			
区分小計		-	-	-
区分小計		-	-	-
合　　計		44,303,955	0	44,303,955